

「ラルカラー版」

拜啓 親友へ、君の母親を

レ○プさせていたただきました。

■ さよごとB専

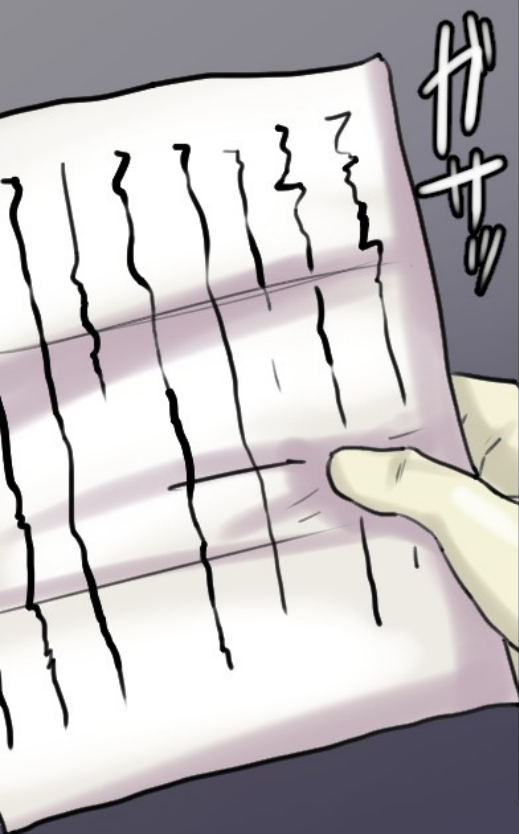




ある日ボクのもとに親友から
一通の手紙が届いた



その内容はボクにとって
耐えがたいものであった……



拝啓 親友へ

君の母親を

レ○プさせていたいただきました。

その全てをここで告白します。

7ヶ月前の出来事・・・
キミが部活の合宿で不在の期間
オレはキミのおばさんに深く
接近することができた

あら！勃気のお友達の
根鳥くんじゃない！
久しぶりね！



オレはその時期親と喧嘩をして
家を追い出されていた

ご両親から虐待……?
それで家を飛び出してきたの……
それは大変だったわね……

オレは虐待の嘘について
おばさんの優しさにつけ込んでやった

うちにねえ……
んー……このまま帰すのも心配ね
補導だつてされちゃうかもだし

オレはその場で土下座をしたよ……
日本は良いよな……適当に頭と手を地面につける
だけで誠意と捉えるんだからな……

さすがにおばさんは土下座には戸惑っていたね
だけどオレをキミの家に一晩泊めてもらえることになつたのさ
キミのオバサンは心が綺麗だ……そこが大好きなのさ

そう……オレはキミの母親のことが好きなんだよ
おばさんが離婚したと聞いた時は心底嬉しかった
もしかしたら年下のオレに振り向いてくれるかも
つてな……

ニヤッ

それからすぐキミの家に向かったよ

本当久しぶりにキミの家に
行ったけど良い家だね

オレはおばさんとの時間に気持ちの
高鳴りが抑えられなかったよ

おばさんの綺麗な瞳……
歳をとっても全く変わって
いなかった……

初恋の気持ちを
思い出したよ……

その日の夜…初めておばさんの
手料理をご馳走になった

キミは幸せ者だ
なんて素敵な女性
なのだろう…

そういえば
根鳥くんって

彼女とか好きな人って
いるの…??

えっ!?

い…いやいやいよ
学校の女子はガキっぽいから
全然惹かれないかな

あらそうなの？

ど…どっちかっていうと
年上の方が好みかな！

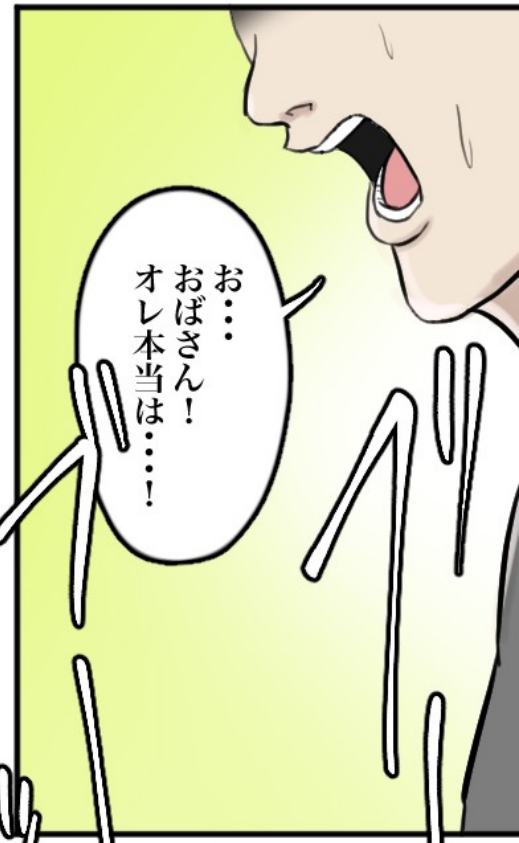
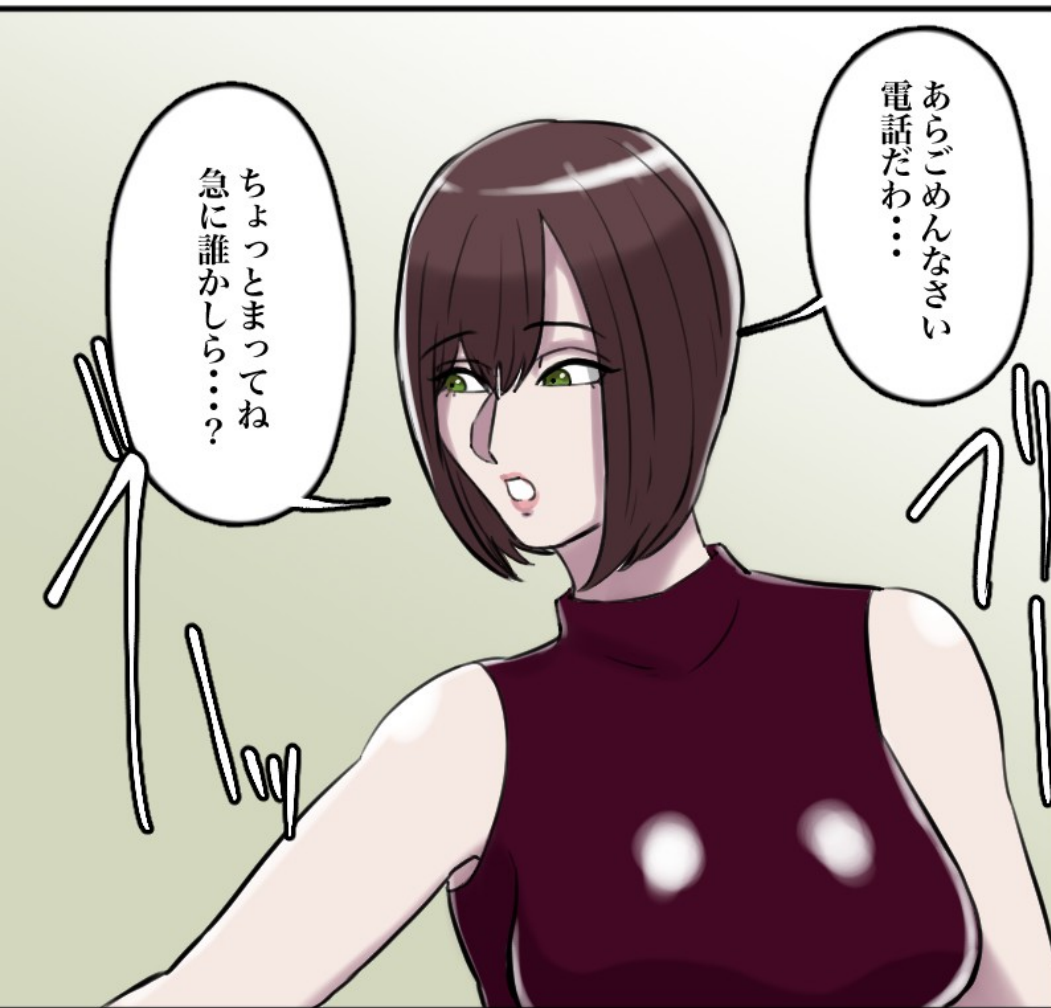
あらそうなの！
いつかきつと大好きな人が
できるわよ！
うふふっ！

い…
言いたい…

本当はおばさんのことが
好きだって…
愛してるって…！

だから…
思い切つて
この思いを
伝える…

はずだった...







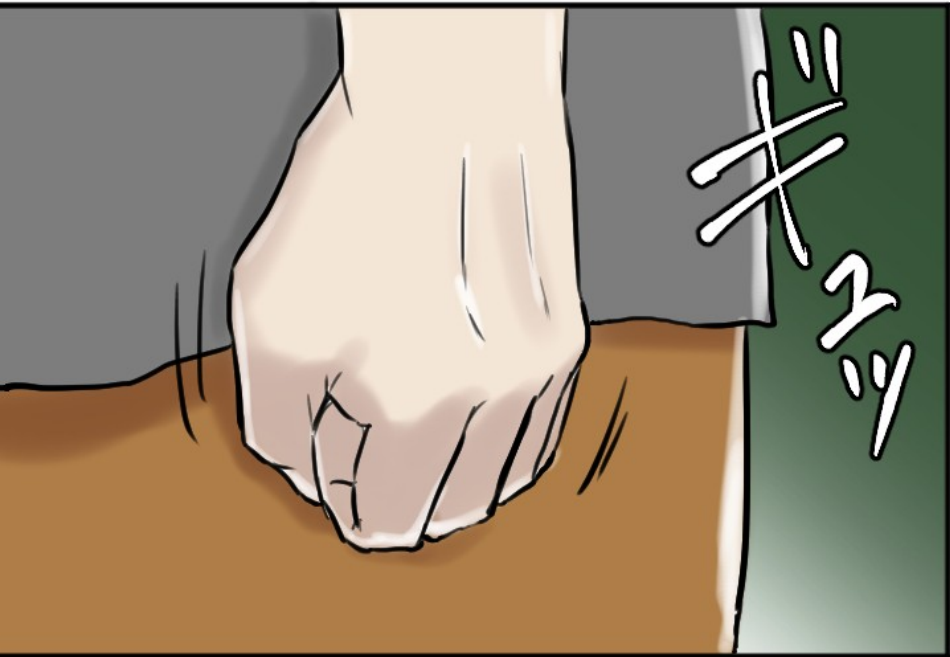


あれが……女の顔……



オレには見せたことない顔をしていた！
なにか理由があるだろう！

なんだ……！
なんなんだ！
さっきのおばさんの顔！



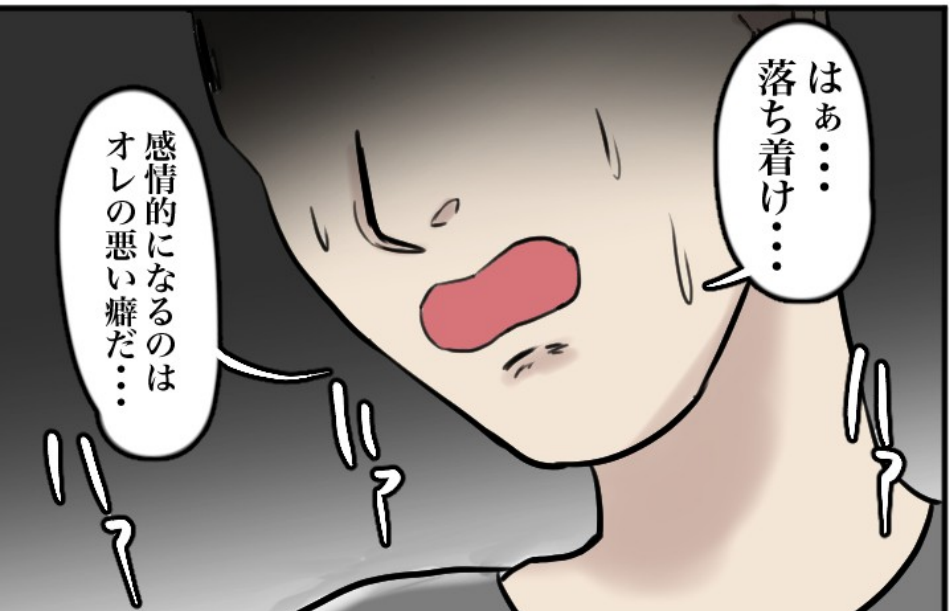
ギ
ズツ



ブル
ブル

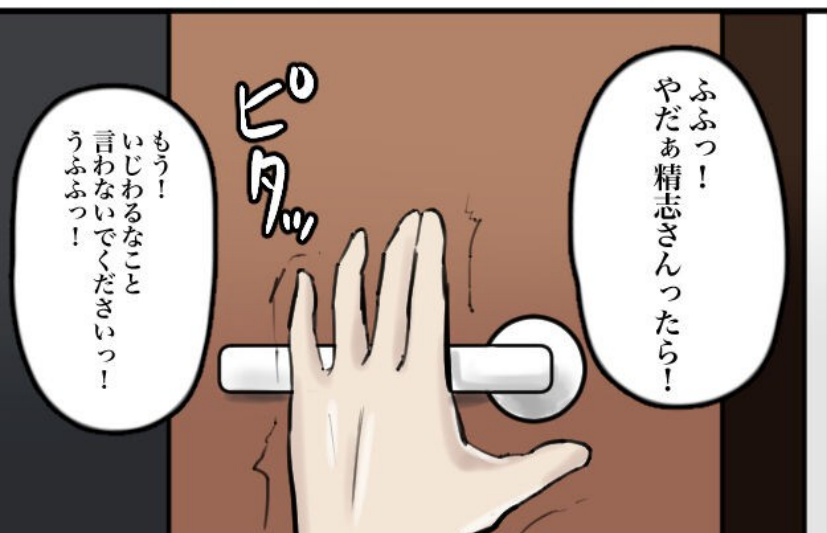
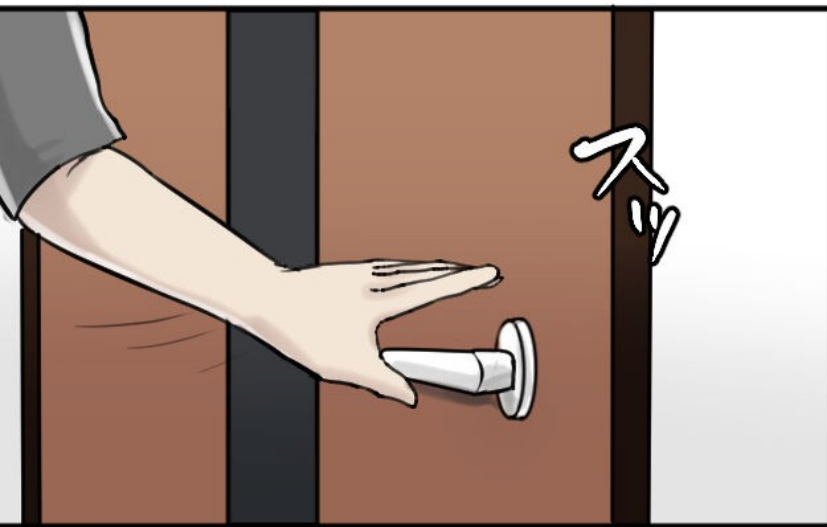
ブル
ブル

ブル
ブル



はあ……
落ち着け……

感情的になるのは
オレの悪い癖だ……



うん
そうね

ガチャ

ええ…
うん

今度の休日ね
行きたいところ
とかある？

え！本当に？

私もそこに
行きたかったの！
気が合うのね！

うふふ

楽しみだわ

精史さんとのデート前夜は
いつもドキドキして眠れなく
なるのよ？

疑惑が確信に変わった
瞬間だった…

シヨックすぎて言葉を
失ったよ…最悪だったね

実はね…



もしかして…
聞こえちゃった？

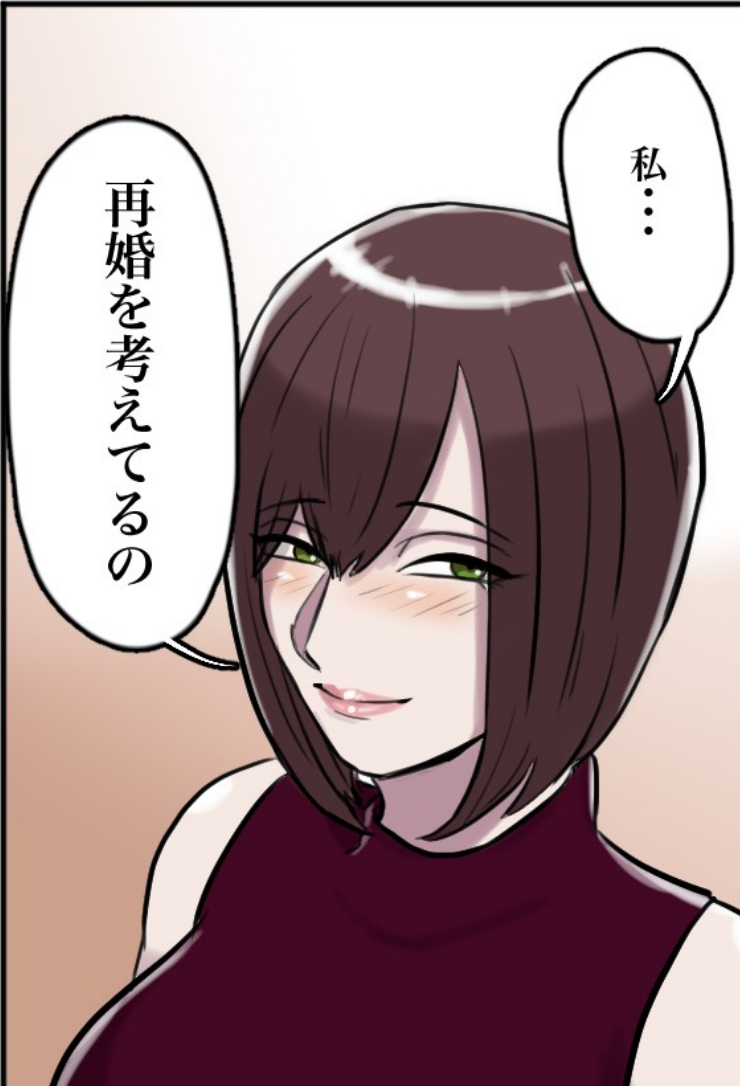


うんっ
それじゃあ
また連絡してね

一瞬意識が飛んだ…



そしてこれが現実だと
思い知った…
血の気がサーッと引いたね



私…

再婚を考えてるの



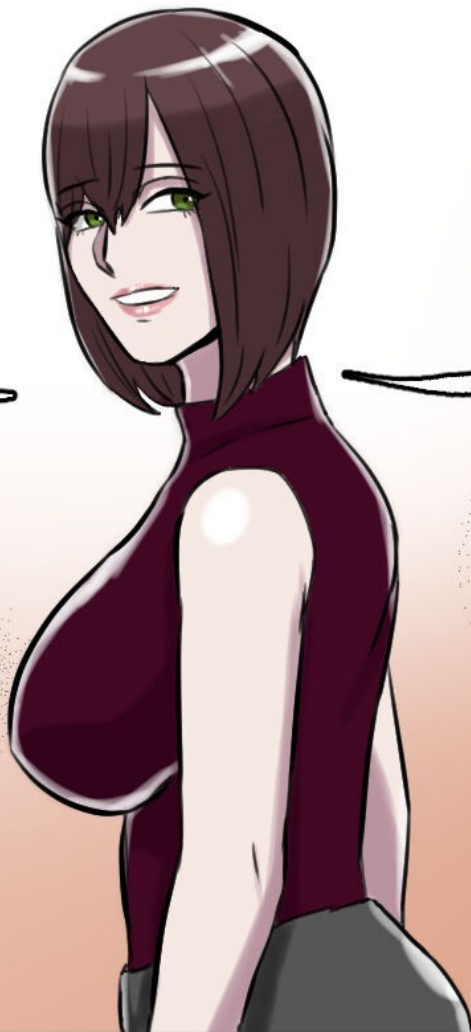
くそ……!
くそ!くそ!



あ……!
勃気には内緒ね!

ニヒ

ふふ



喉乾いてたら
冷蔵庫の中のもの
好みに飲んで良いから!

それじゃあ……
私もお風呂はいつてくるわね

お婆さんが再婚!?
ふざけるな!オレの恋はこんな形で
終わるのか!? 思いも伝えてないのに……!

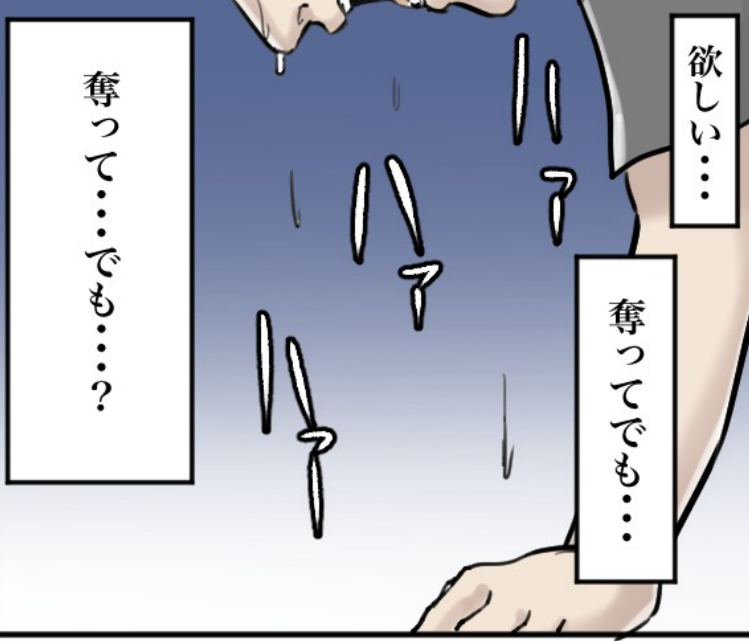
おばさんがまた誰かのものになって
しまう・・・
考えたくなかった事実・・・
いや心の中で気づいていたのかもしれない
本当はおれみたいな年下は最初から相手に
されないなんて・・・



でもオレの気持ちは本物だったんだ・・・
これから先これ以上人を好きになるわけ
ない・・・
同級生のシヨンベンくさいやつらと
おばさんは比べ物にならないんだ・・・
欲しい・・・欲しい・・・おばさんが欲しい・・・

欲しい・・・

奪ってでも・・・



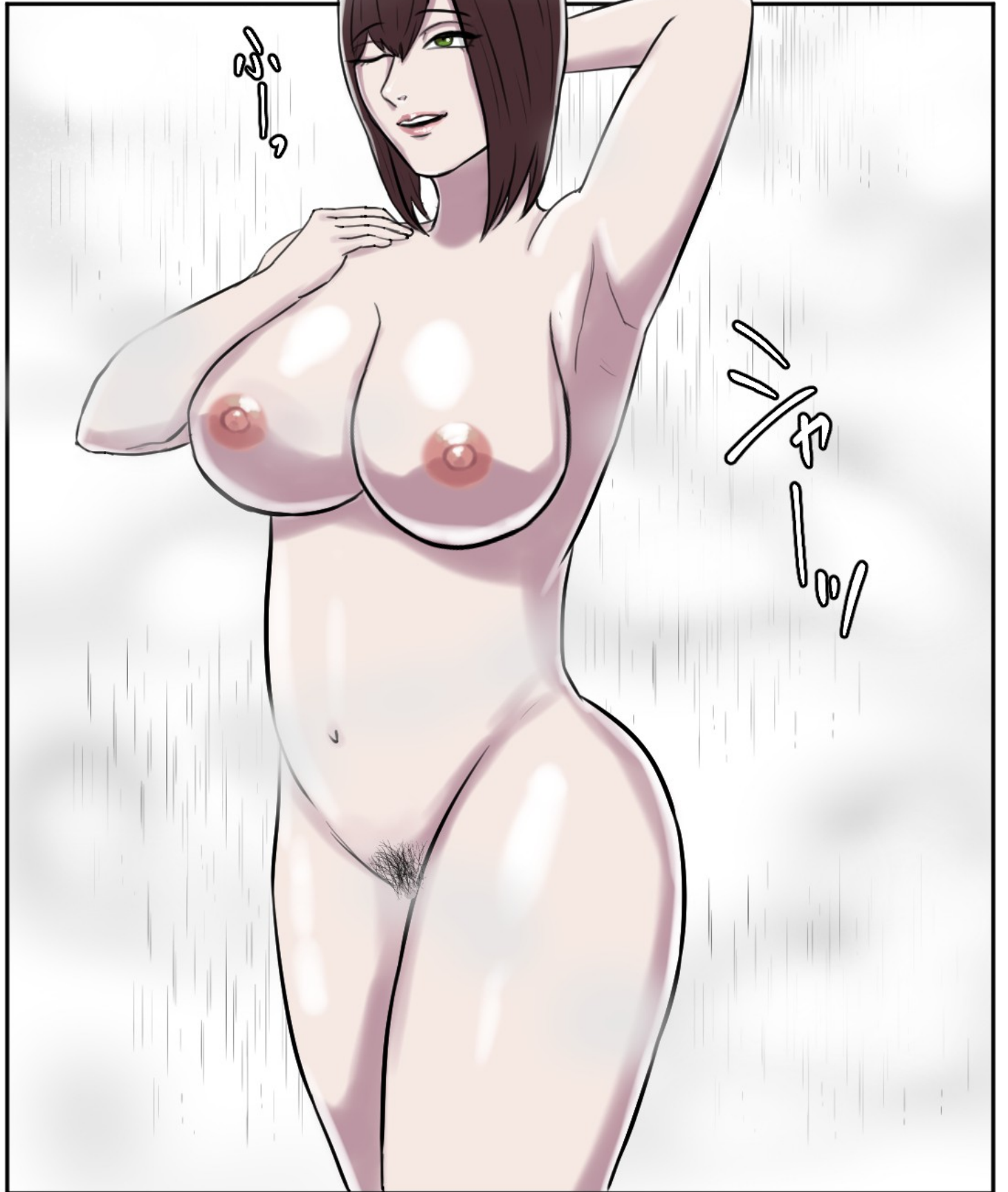
奪って・・・でも・・・？

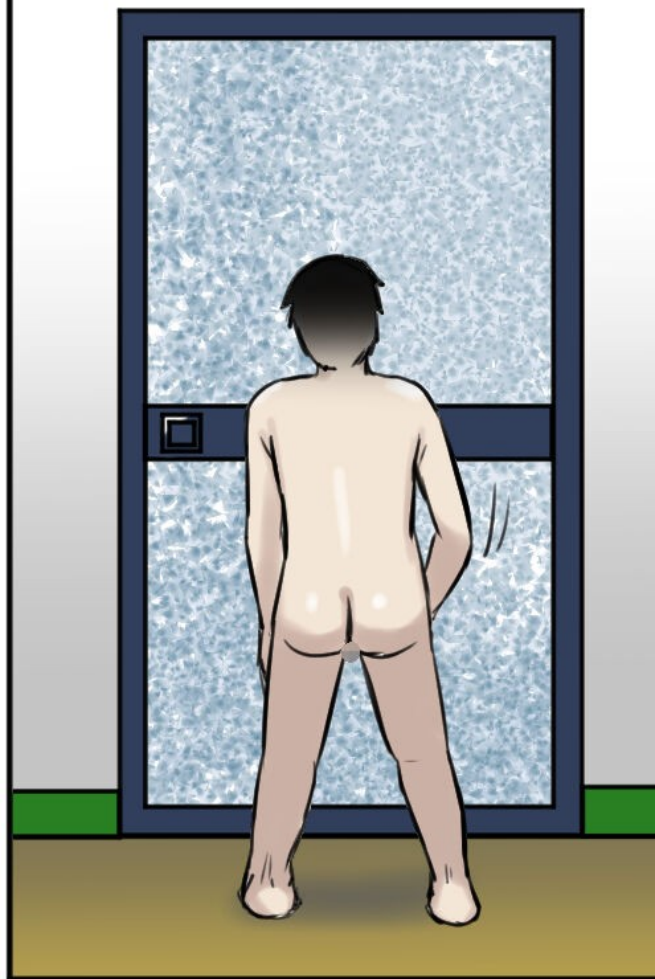
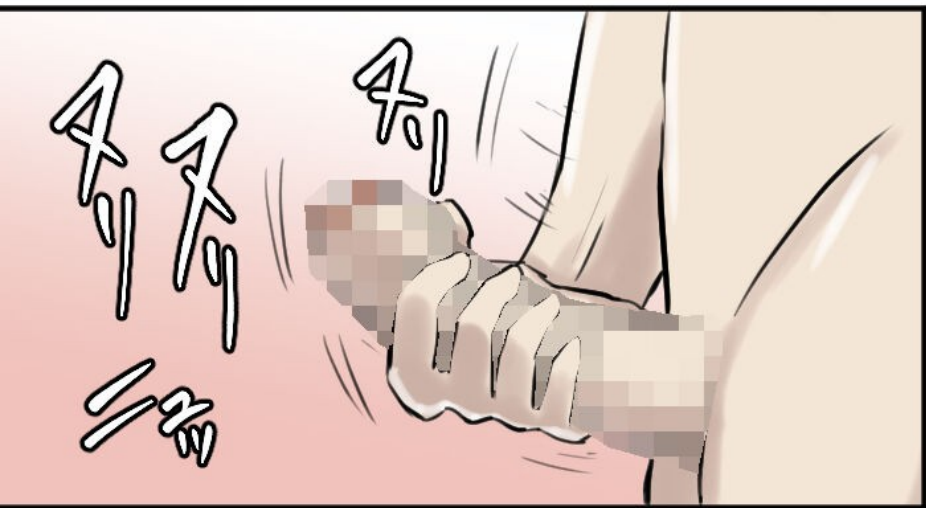
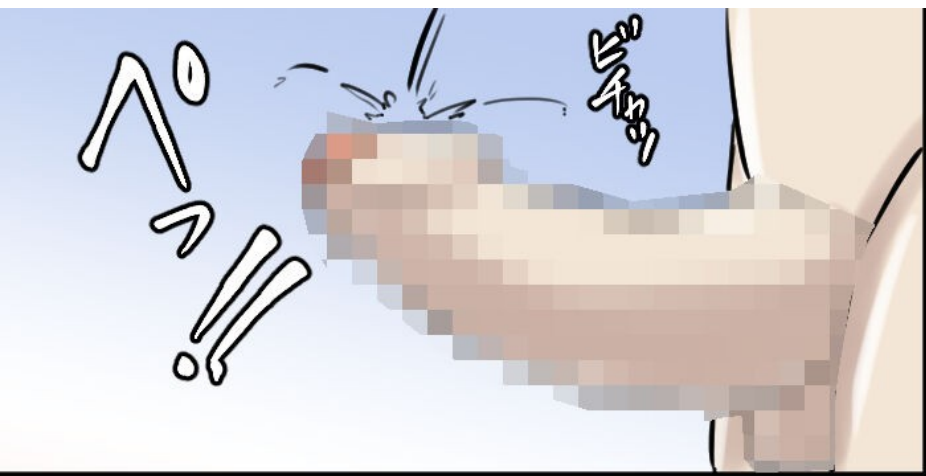
そうだ・・・

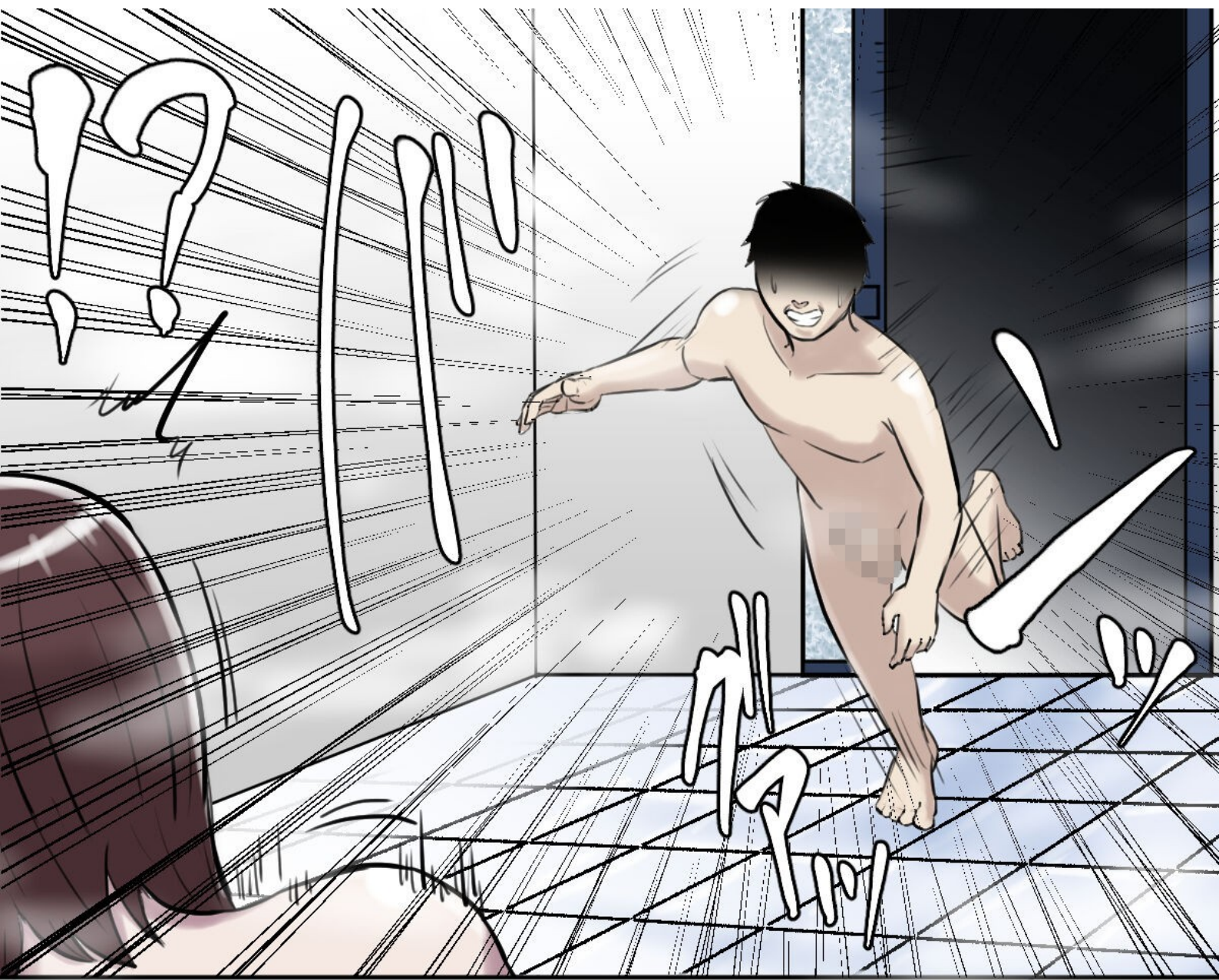


そうだよ！
いつそのこと奪えば
いいじゃないか！

奪ってやるよ・・・



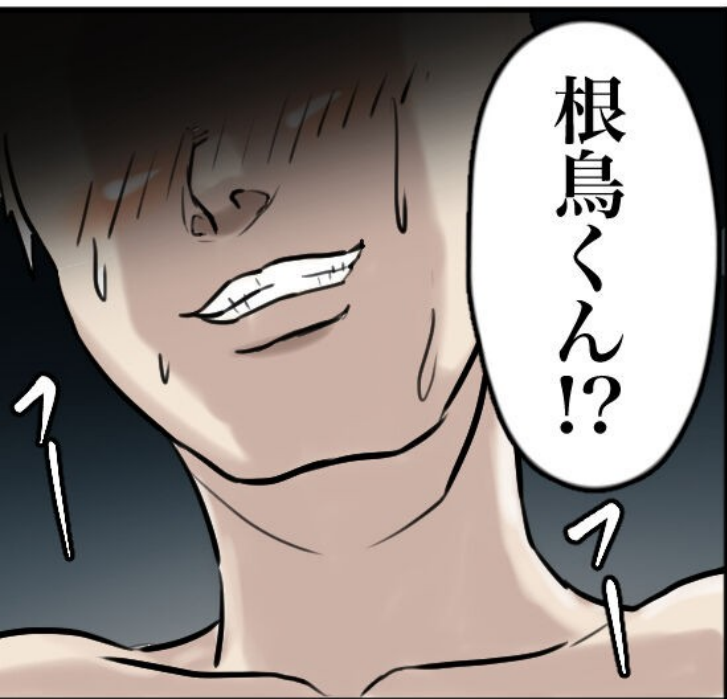
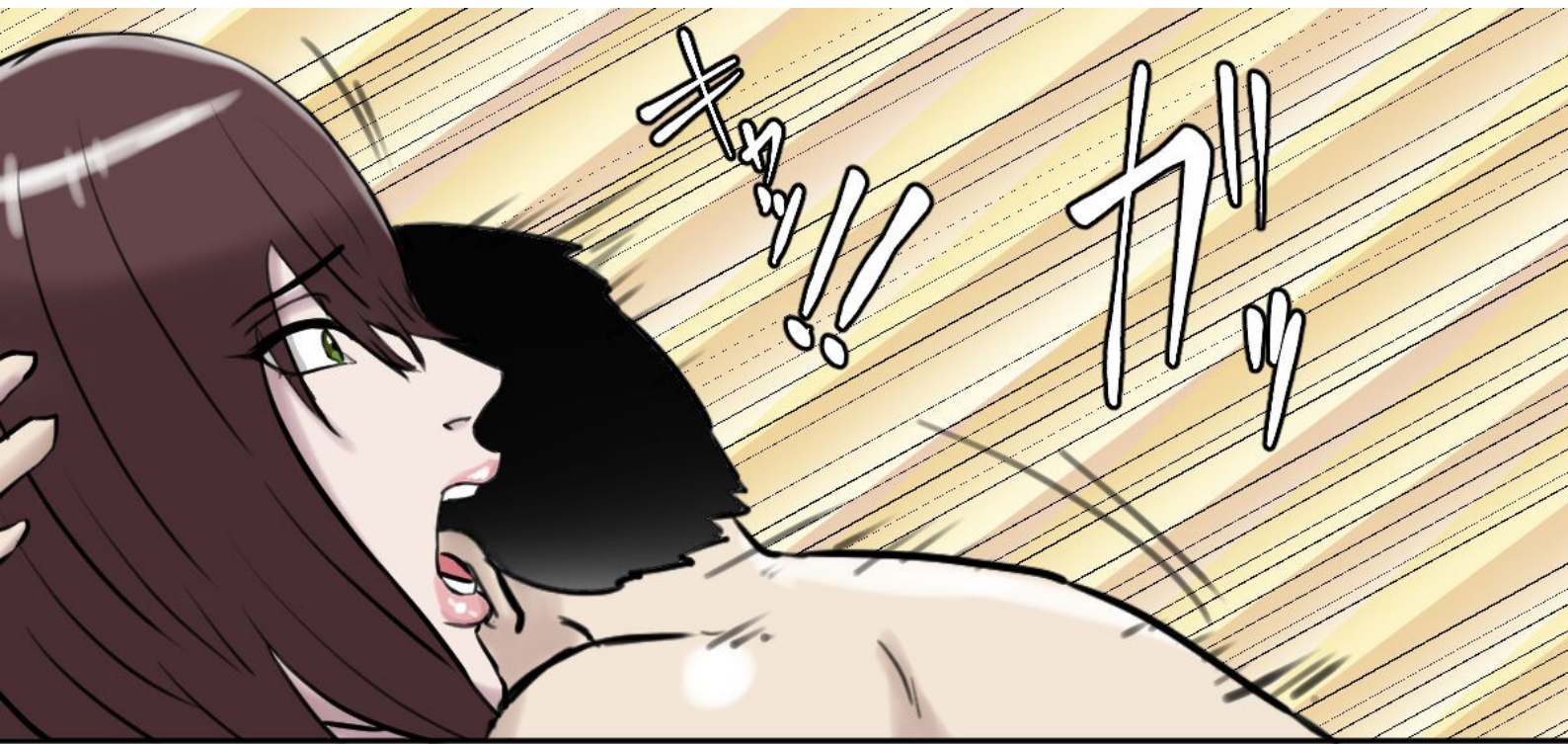




なっなに!?

えっ!?

まあ……
意外と簡単だったね





なのにどうして再婚なんてするの！
オレは許せない！そんなこと！
絶対に！絶対絶対絶対にだ！

年下だからか!?
オレがまだ未熟だからか!?
ふざけるな！なめるな！
オレも大人だってこと教えて
やる!!

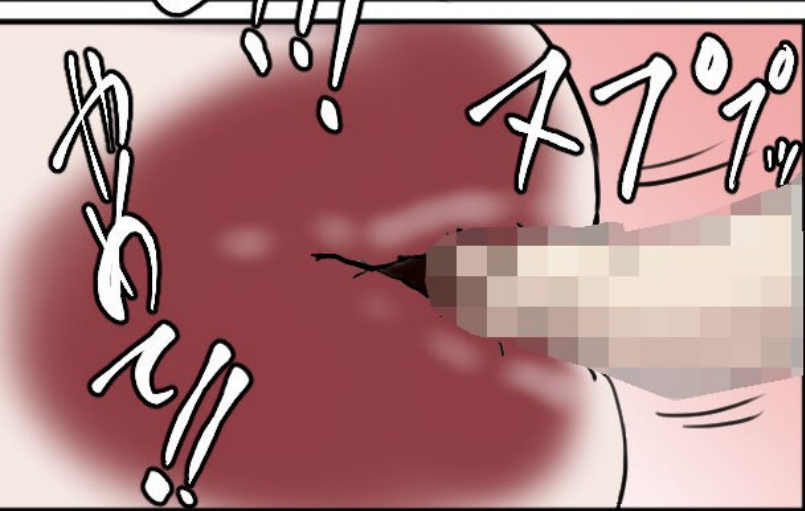


おばさんが
大好きなんだ！



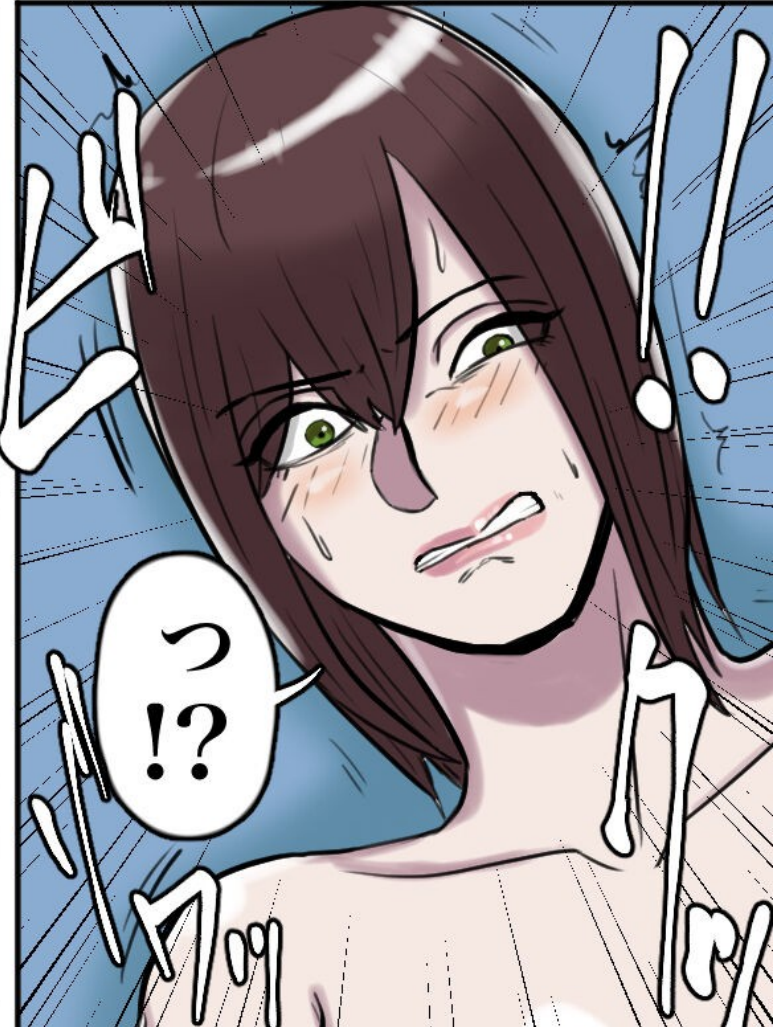
あゝ
と!!!

ピキ



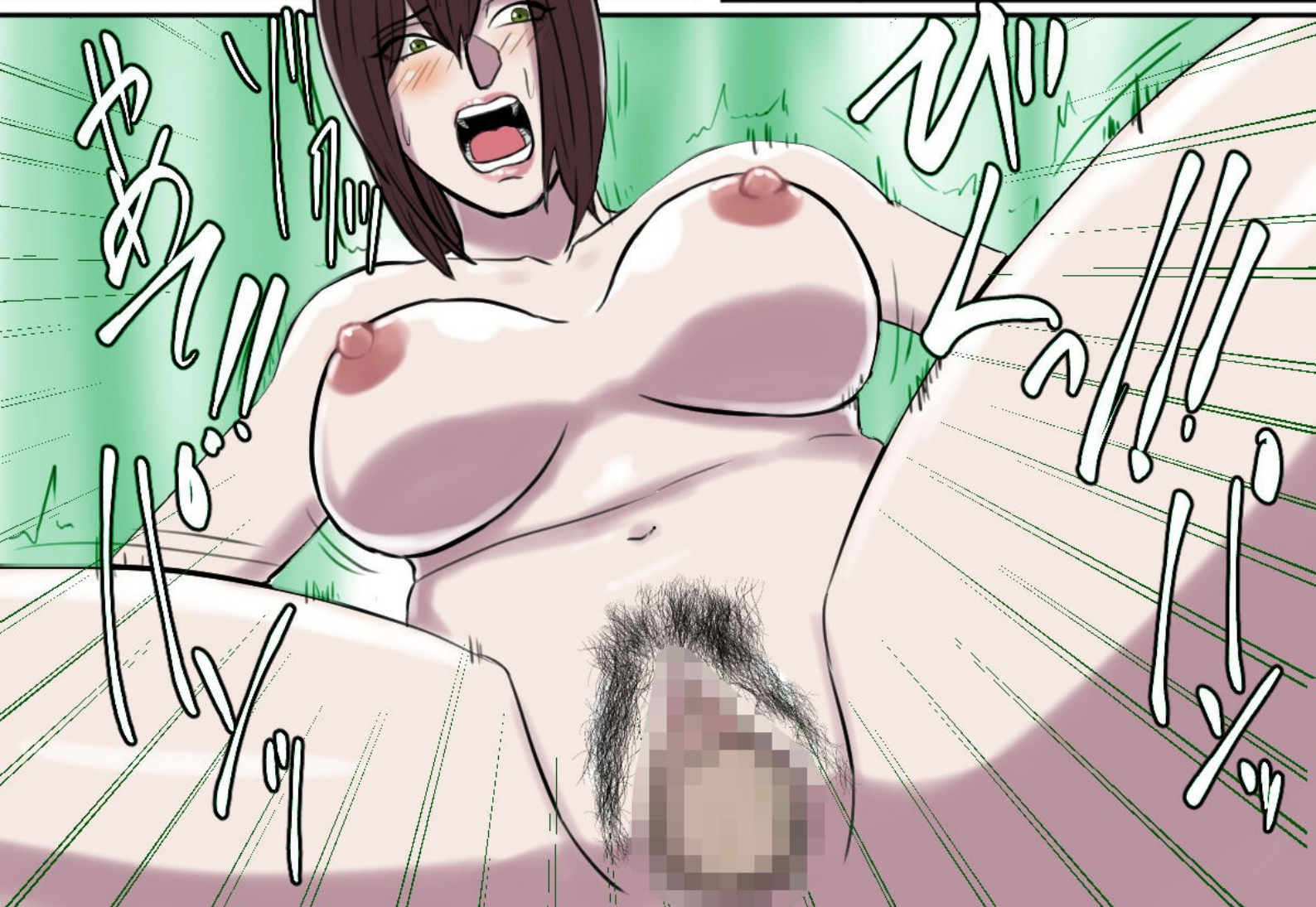
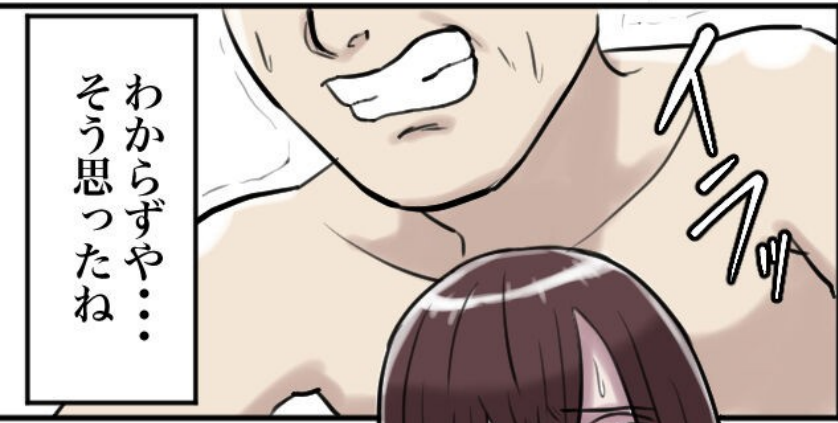
あゝ
!!!

アアア



っ
!?







おばさん!
おばさん!

やめて!
ねえ!

オレは怒りと興奮をおばさんに
ぶつけた...乱暴に...!

ふっ!ふっ!
好きだよ!好き!

もう出しちゃい
そうだよ!



おばさんの言葉を
無視してオレは...

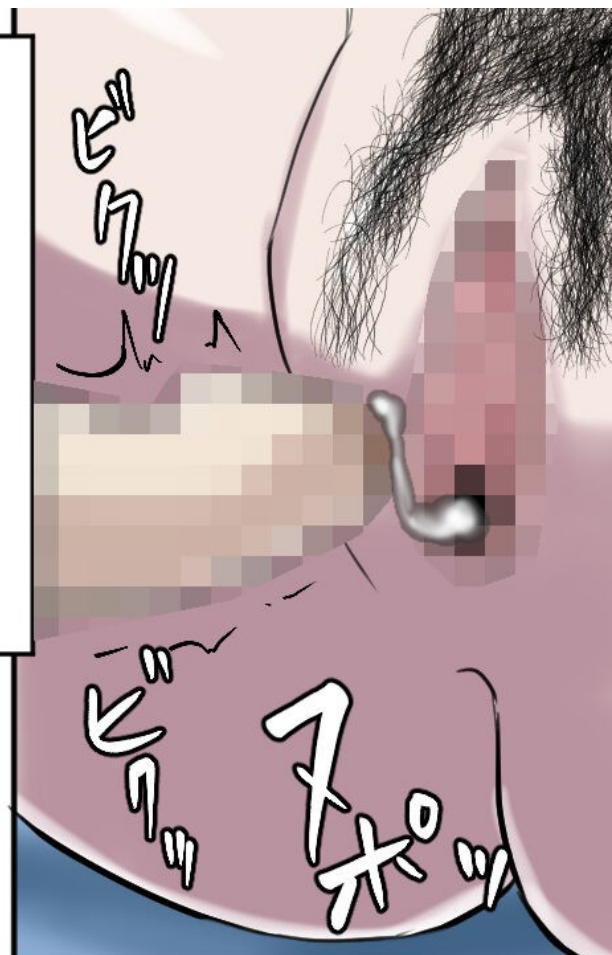


えっ...!
わ...わかったわ...!
今やめてくれたら...
許してあげるから...ね?



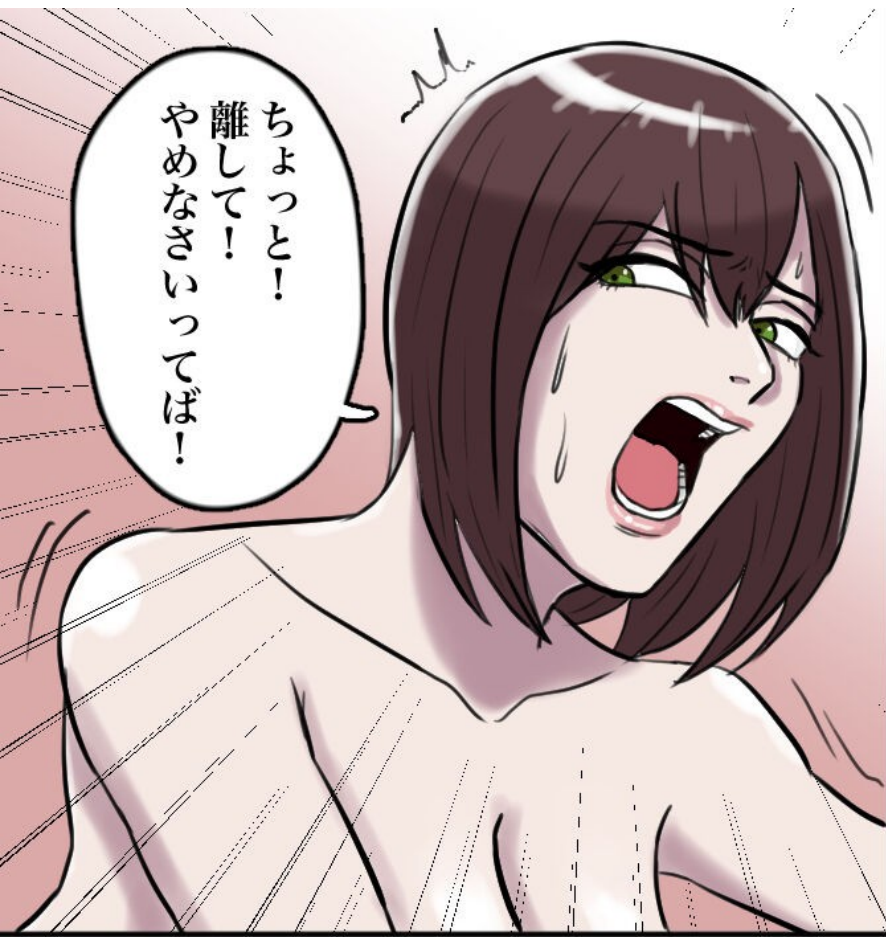
オレはおばさんに出出しキメて
やったよ...すごく動揺してたなあ

あの顔...
可愛かったなあ...

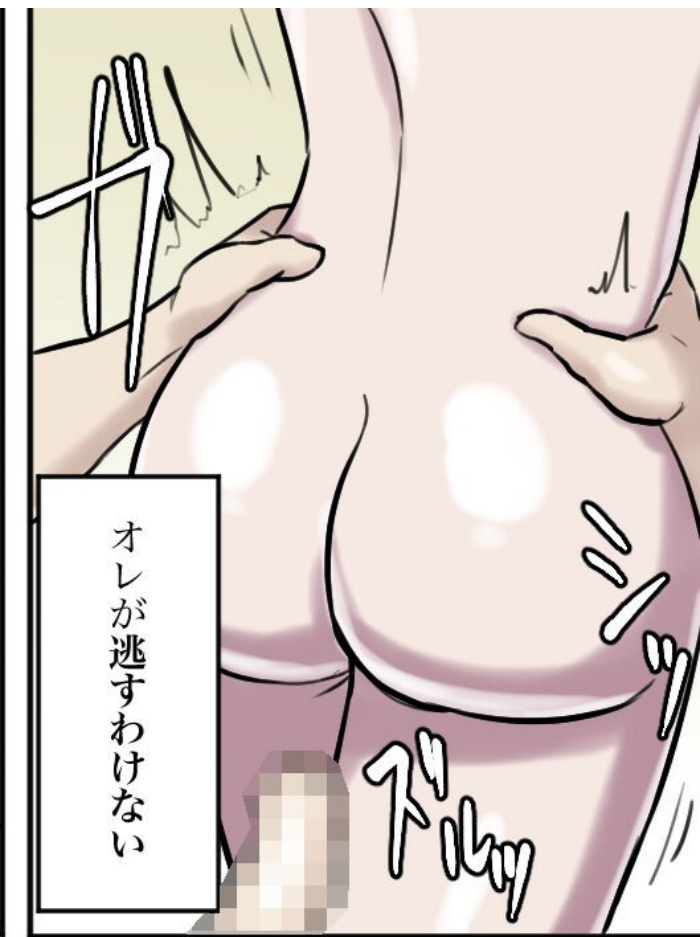


そう思ってたら
おばさん走って逃げよう
としたんだ...情けないね...

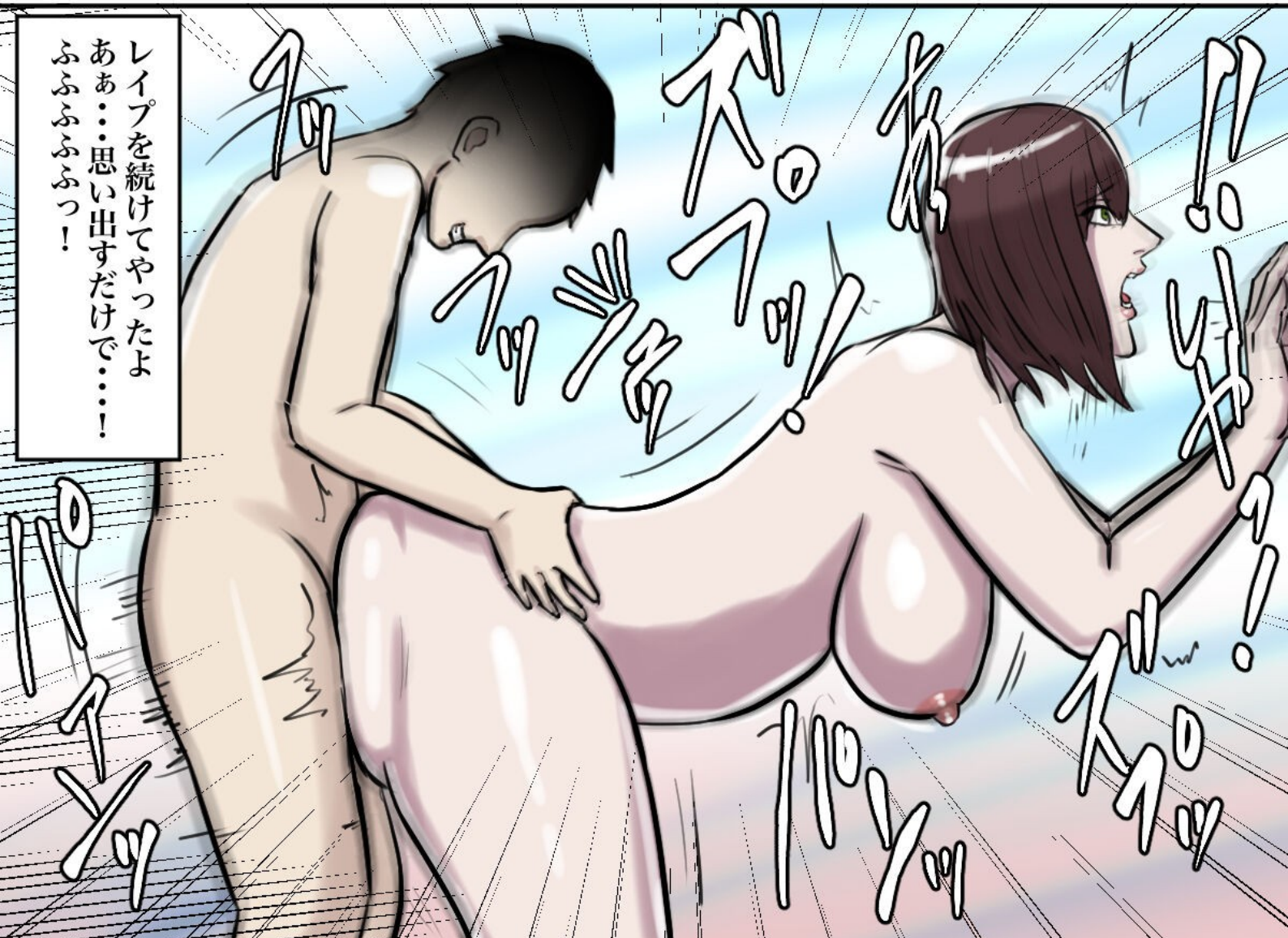




ちよつとー！
離して！
やめなさいってば！



オレが逃すわけない



レイプを続けてやったよ
ああ…思い出すだけで…!!
ふふふふふっ!!



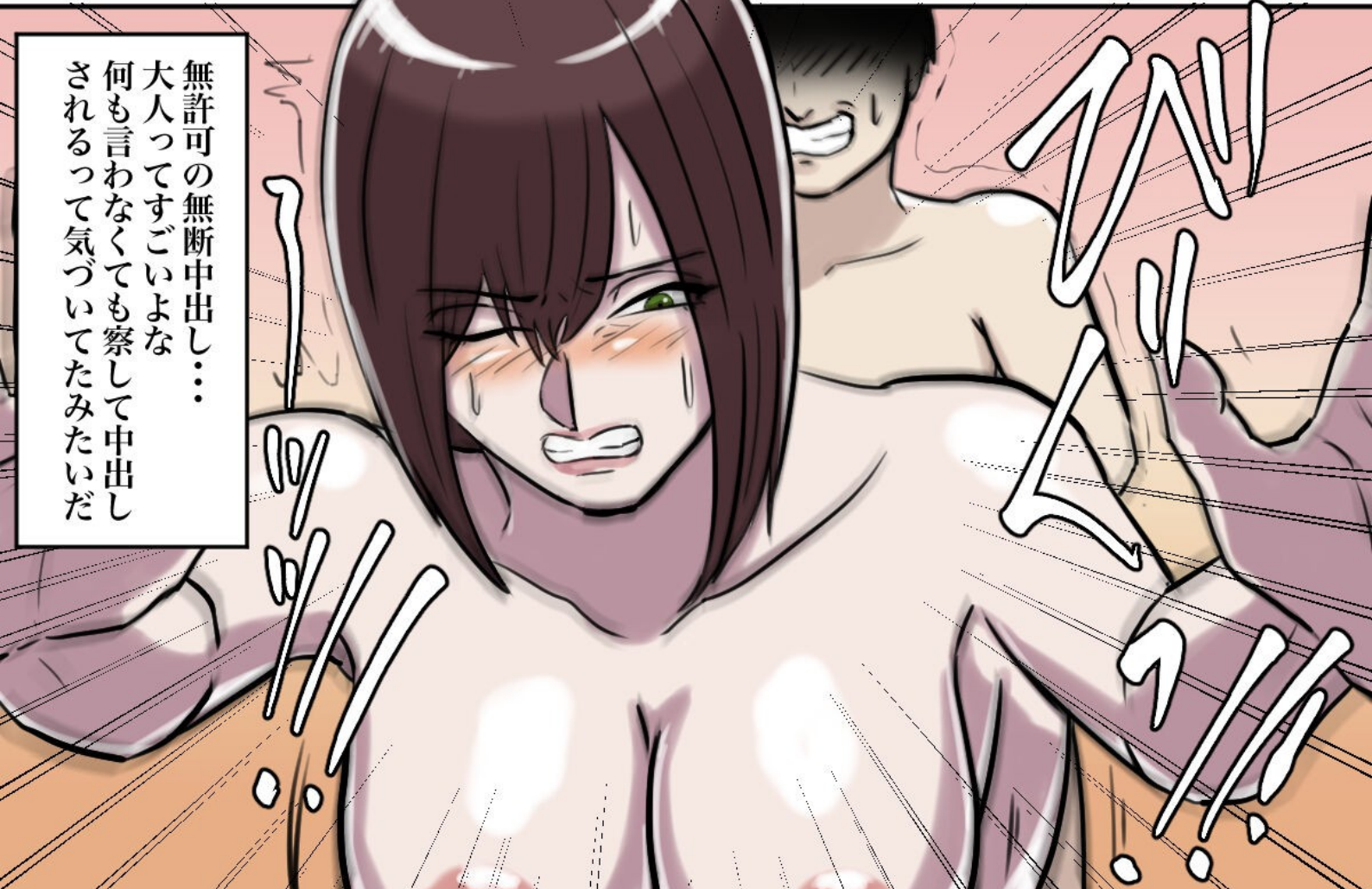
お願い! やめて!
ちよつと! いやああ!!



こつちを何度もみて
やめて! やめて! って...



ビュッ!



無許可の無断中出し...
大人ってすごいよな
何も言わなくても察して中出し
されるって気づいてたみたいだ

ガッ



すす...

その直後だな

やっと...
わかったんだね

おばさんは急にフツと
力が抜けて諦めがついた
ようだったよ...

おばさんは
素直だね



ゴッ

オッ

あああ!
おばさん!

出してやるからな!
早漏包茎ち○ぽで
思いっきり!!

グッ
グッ
グッ

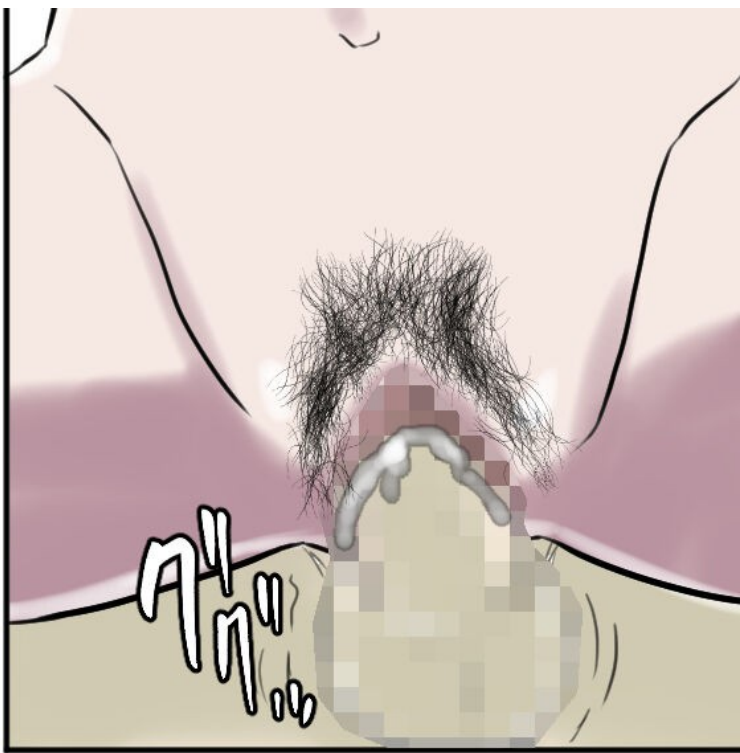
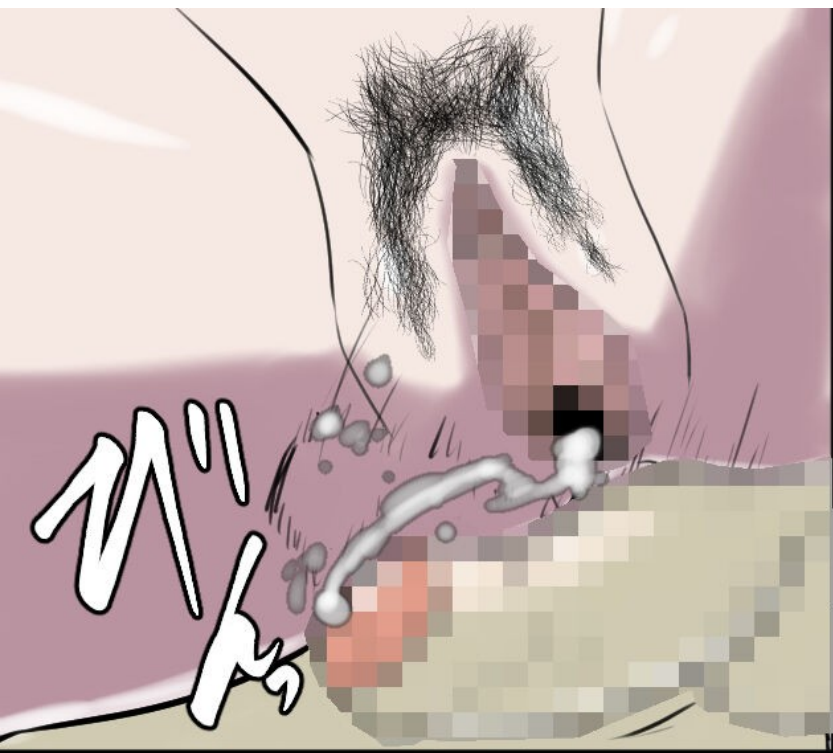
グッ

チッ
グッ
グッ
グッ

おばさんの
おま○こ!!

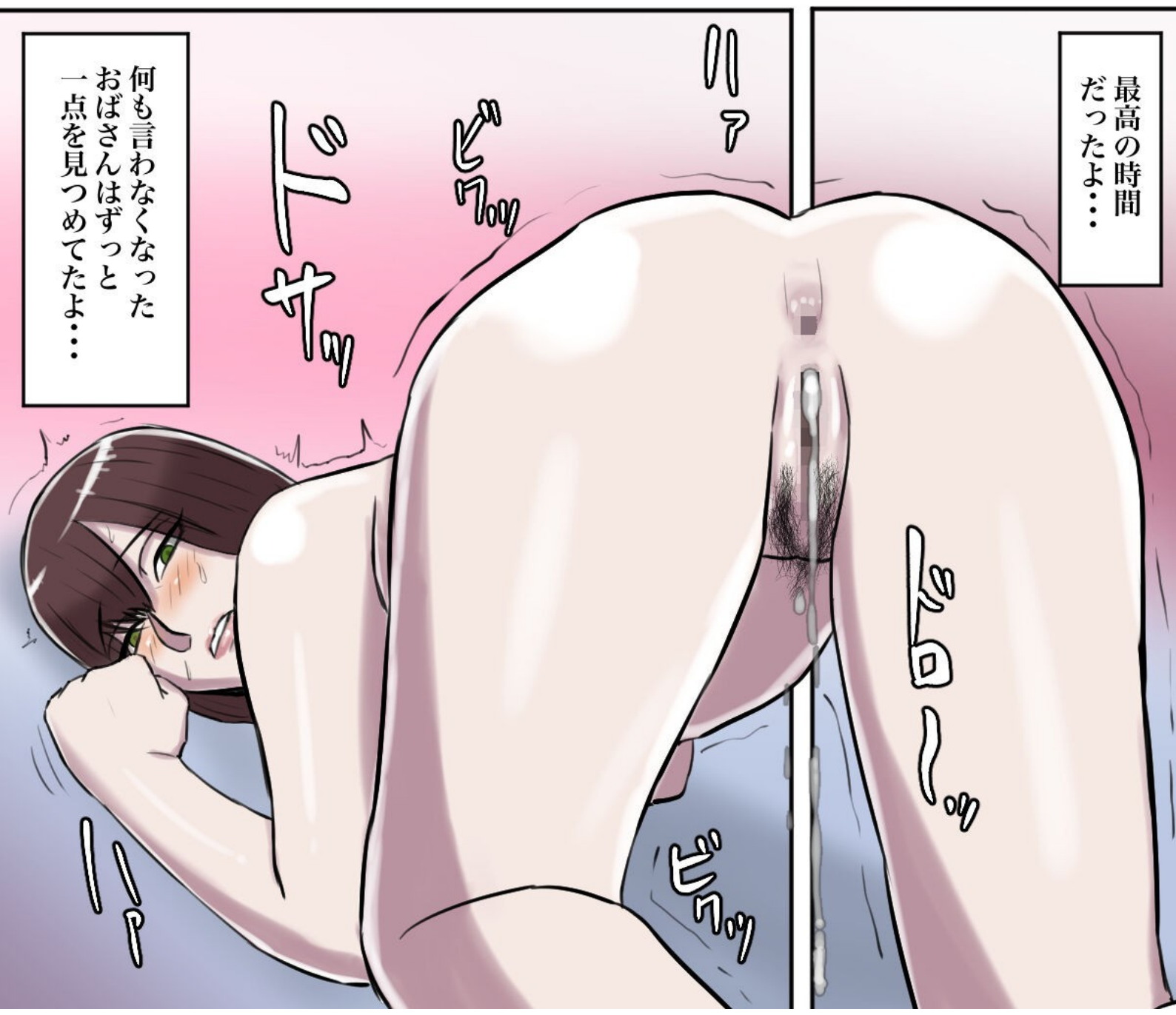
グッ
グッ

グッ



何も言わなくなった
お婆さんはずっと
一点を見つめてたよ……

最高の時間
だったよ……



ト
サ

フ

ハ
?

ゴ
ー

フ

ハ
ハ



これがオレからの告白さ・・・
で・・・なんでオレが今更こんなことを
急に告白したか気になるだろう？



それはキミのおばさんが妊娠してるって
話をきいてね・・・自慢したくなったんだよ

オレの子供だよ！ってね・・・
子供を墮さなかったのは再婚予定の
相手との子供かもしれないって願いが
あったからだろうね！

おばさんって優しい人だよね
キミにも彼氏にも心配させないようにきつと
黙ってたんだらうね・・・
でもきつとオレの子だと思うね・・・

ところで今キミは裏切り者のオレを絞めたい
気持ちなんだろうね
でも無駄さ・・・オレは海外に住んでるんだ
両親の仕事がうまくいってね・・・オレも更生した
ら快く連れて行ってくれたよ・・・海外はいいねえ！
おばさんとは子供を通してずっとオレと繋がって
いる・・・もう幸せすぎてキミに伝えちゃった！

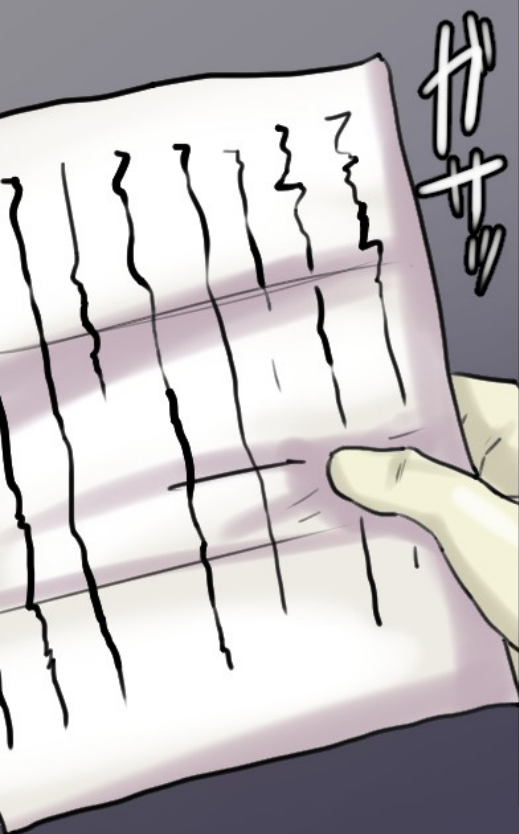
じゃあ……まっ！
子育ての手伝いよろしく！
あとは任せるわ！
お兄ちゃん！ばいばい！

おわり

ある日ボクのもとに親友から
一通の手紙が届いた



その内容はボクにとって
耐えがたいものであった……



ガサッ

拝啓 親友へ

君の母親を

レ○プさせていたいただきました。

その全てをここで告白します。

7ヶ月前の出来事・・・
キミが部活の合宿で不在の期間
オレはキミのおばさんに深く
接近することができた

あら！勃気のお友達の
根鳥くんじゃない！
久しぶりね！



オレはその時期親と喧嘩をして
家を追い出されていた

ご両親から虐待……?
それで家を飛び出してきたの……
それは大変だったわね……

オレは虐待の嘘について
おばさんの優しさにつけ込んでやった

うちにねえ……
んー……このまま帰すのも心配ね
補導だつてされちゃうかもだし

オレはその場で土下座をしたよ……
日本は良いよな……適当に頭と手を地面につける
だけで誠意と捉えるんだからな……

さすがにおばさんは土下座には戸惑っていたね
だけどオレをキミの家に一晩泊めてもらえることになつたのさ
キミのオバサンは心が綺麗だ……そこが大好きなのさ

そう……オレはキミの母親のことが好きなんだよ
おばさんが離婚したと聞いた時は心底嬉しかった
もしかしたら年下のオレに振り向いてくれるかも
ってな……

ニヤッ

それからすぐキミの家に向かったよ

本当久しぶりにキミの家に
行ったけど良い家だね

オレはおばさんとの時間に気持ちの
高鳴りが抑えられなかったよ

おばさんの綺麗な瞳……
歳をとっても全く変わって
いなかった……

初恋の気持ちを
思い出したよ……

その日の夜…初めておばさんの
手料理をご馳走になった

キミは幸せ者だ
なんて素敵な女性
なのだろう…

そういえば
根鳥くんって

彼女とか好きな人って
いるの…??

えっ!?

い…いやいやいよ
学校の女子はガキっぽいから
全然惹かれないかな

あらそうなの？

ど…どっちかっていうと
年上の方が好みかな！

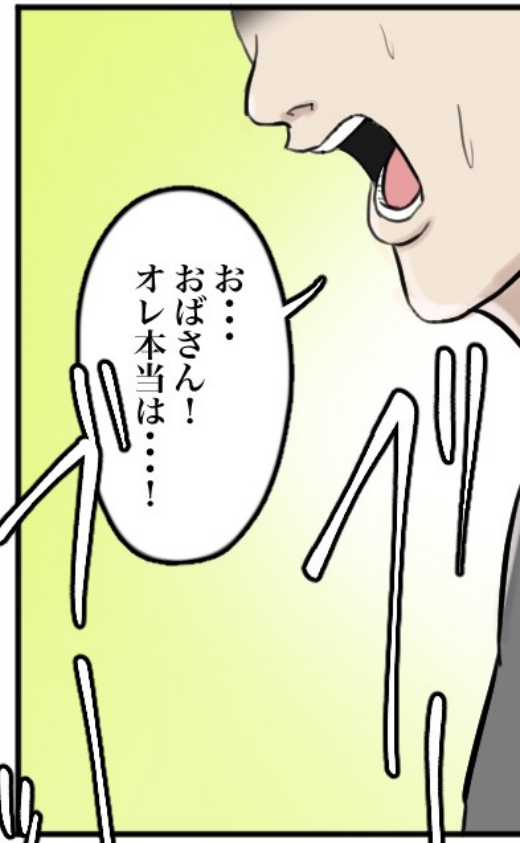
あらそうなの！
いつかきつと大好きな人が
できるわよ！
うふふっ！

い…
言いたい…

本当はおばさんのことが
好きだって…
愛してるって…！

だから…
思い切つて
この思いを
伝える…

はずだった...







大丈夫……
大丈夫だよ

なんでも
ないよ!

あら……
そう?



き……気のせい
だよ……な……?

違うよな……
変な考えはやめよう



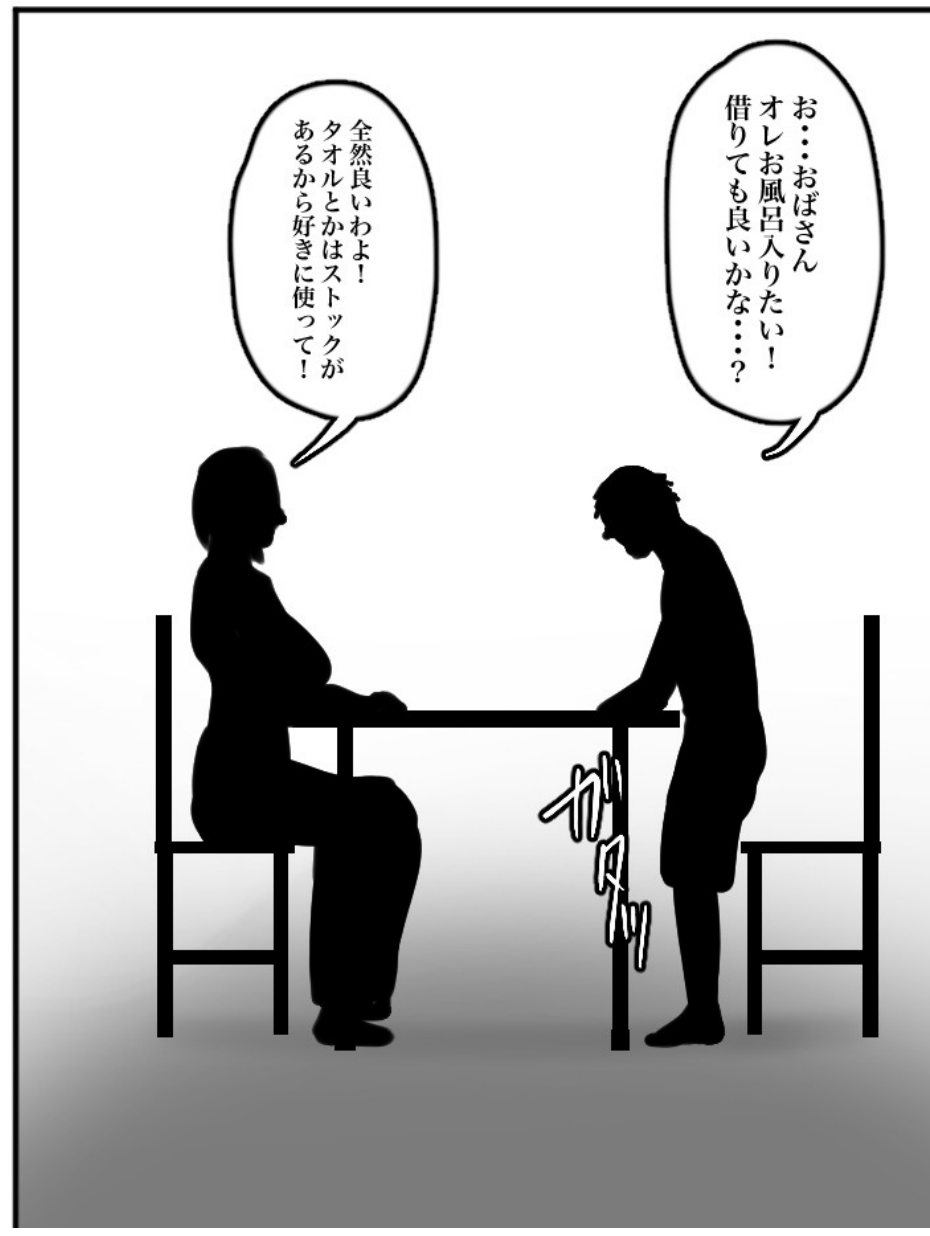
あ!気にしないで!
大丈夫だから
あとでかけなおすから

それで……
なんだっけ!

何



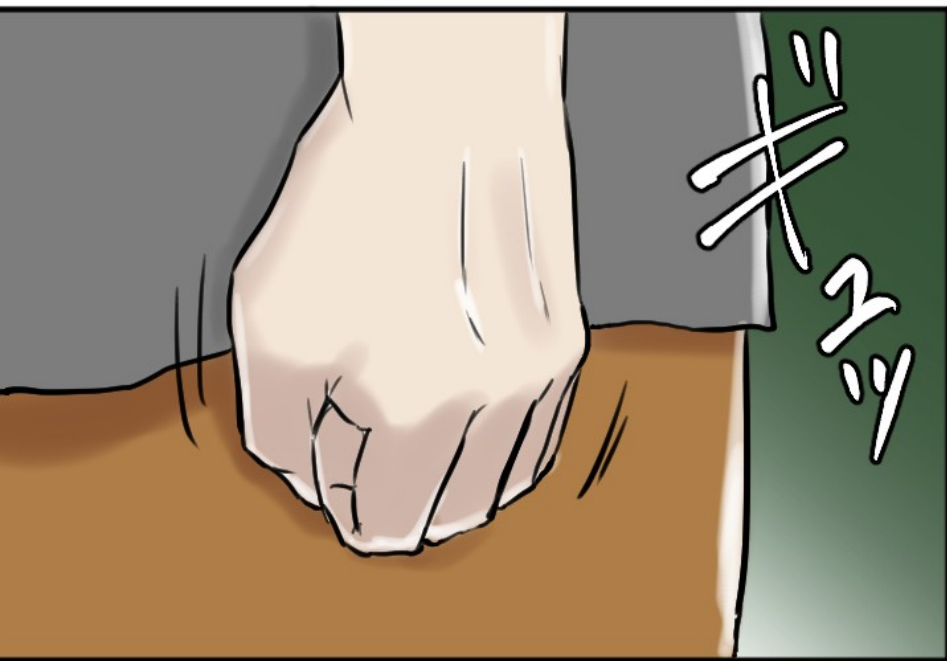
シャンプーとボディソープ
間違えないようにねー!!

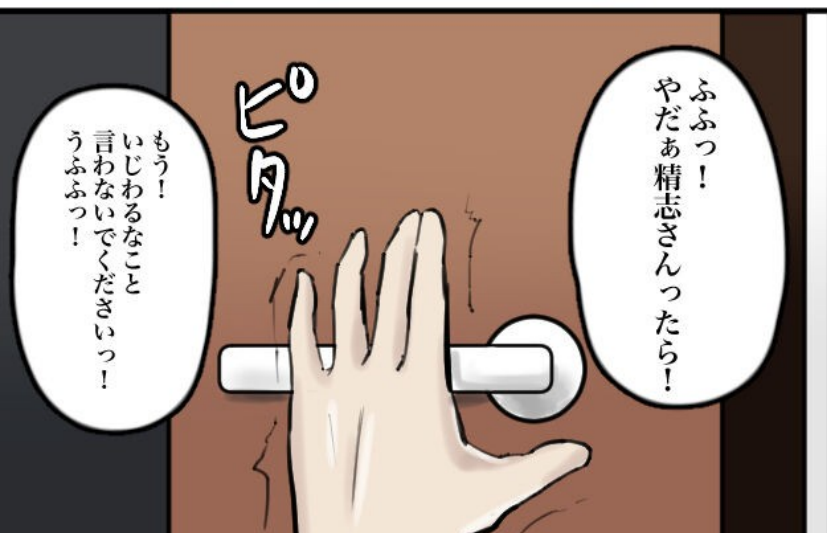
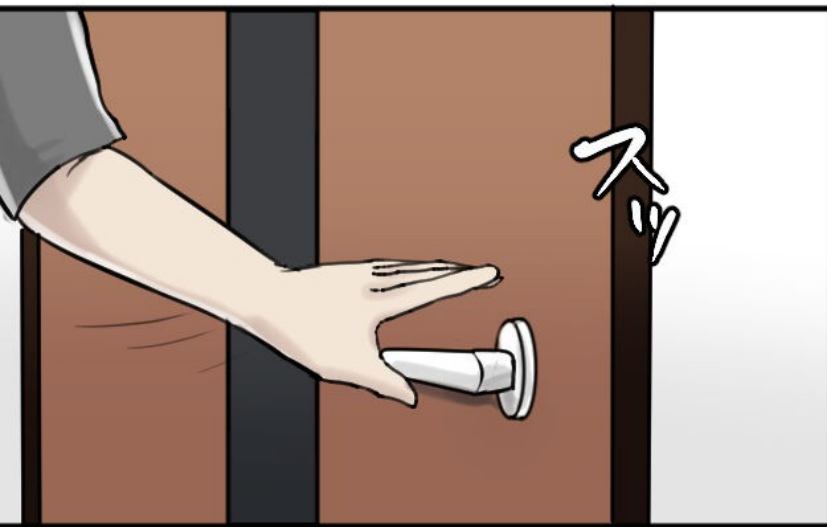


お……おばさん
オレお風呂入りたい!
借りても良いかな……?

全然良いわよ!
タオルとかはストックが
あるから好きに使って!

何





うん
そうね

ガチャ

ええ…
うん

今度の休日ね
行きたいところ
とかある？

え！本当に？

私もそこに
行きたかったの！
気が合うのね！

うふふ

楽しみだわ

精史さんとのデート前夜は
いつもドキドキして眠れなく
なるのよ？

疑惑が確信に変わった
瞬間だった…

シヨックすぎて言葉を
失ったよ…最悪だったね

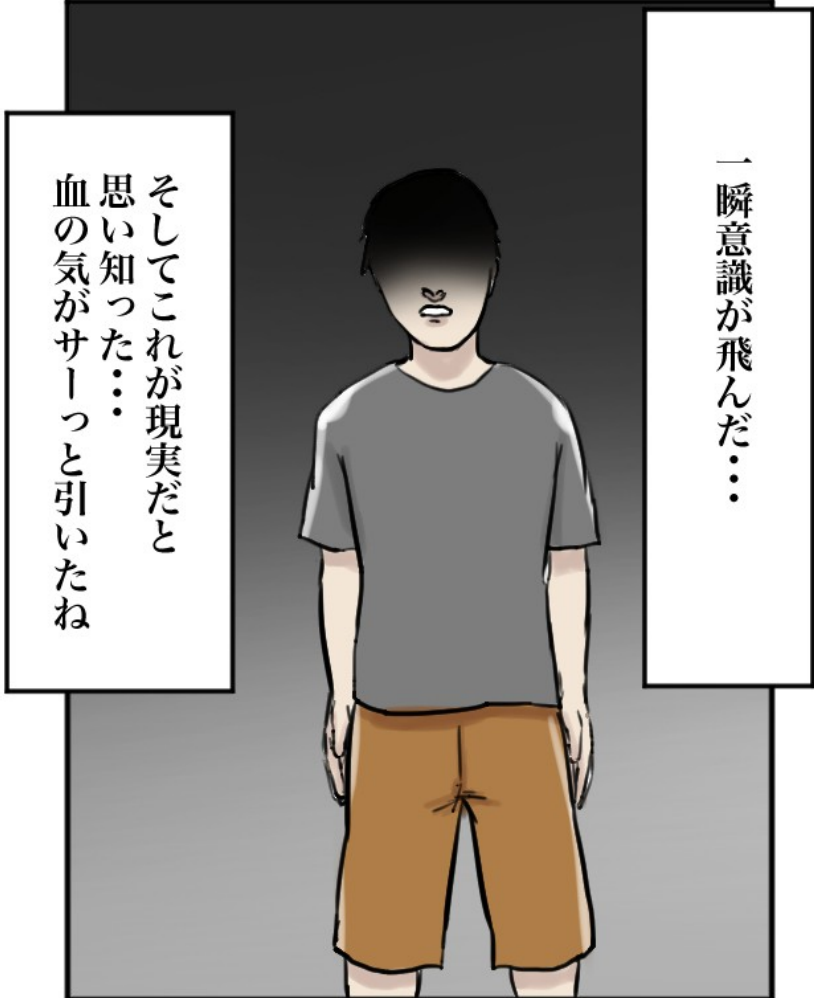
実はね…



もしかして…
聞こえちゃった？

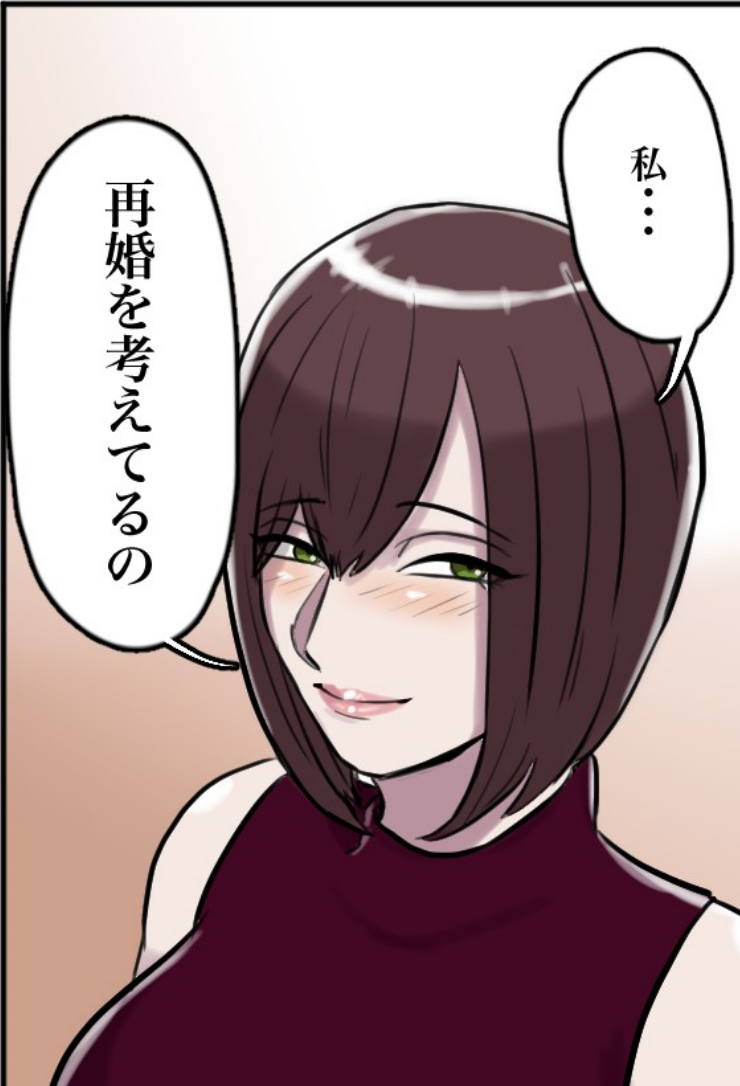


うんっ
それじゃあ
また連絡してね



一瞬意識が飛んだ…

そしてこれが現実だと
思い知った…
血の気がサーッと引いたね



私…

再婚を考えてるの



くそ……!
くそ!くそ!



あ……!
勃気には内緒ね!

ニヒ

ふふ



喉乾いてたら
冷蔵庫の中のもの
好みに飲んで良いから!

それじゃあ……
私もお風呂はいつてくるわね

お婆さんが再婚!?
ふざけるな!オレの恋はこんな形で
終わるのか!? 思いも伝えてないのに……!

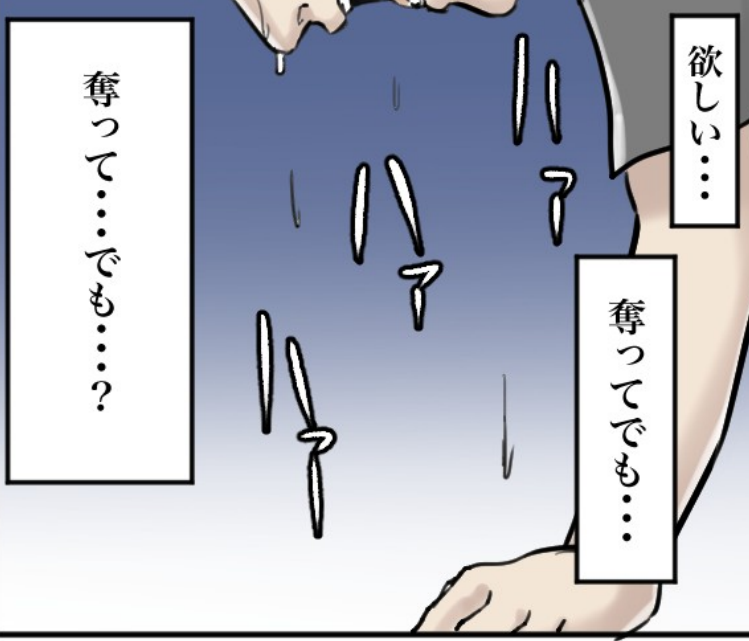
おばさんがまた誰かのものになって
しまう・・・
考えたくなかった事実・・・
いや心の中で気づいていたのかもしれない
本当はおれみたいな年下は最初から相手に
されないなんて・・・



でもオレの気持ちは本物だったんだ・・・
これから先これ以上人を好きになるわけ
ない・・・
同級生のシヨンベンくさいやつらと
おばさんは比べ物にならないんだ・・・
欲しい・・・欲しい・・・おばさんが欲しい・・・

欲しい・・・

奪ってでも・・・



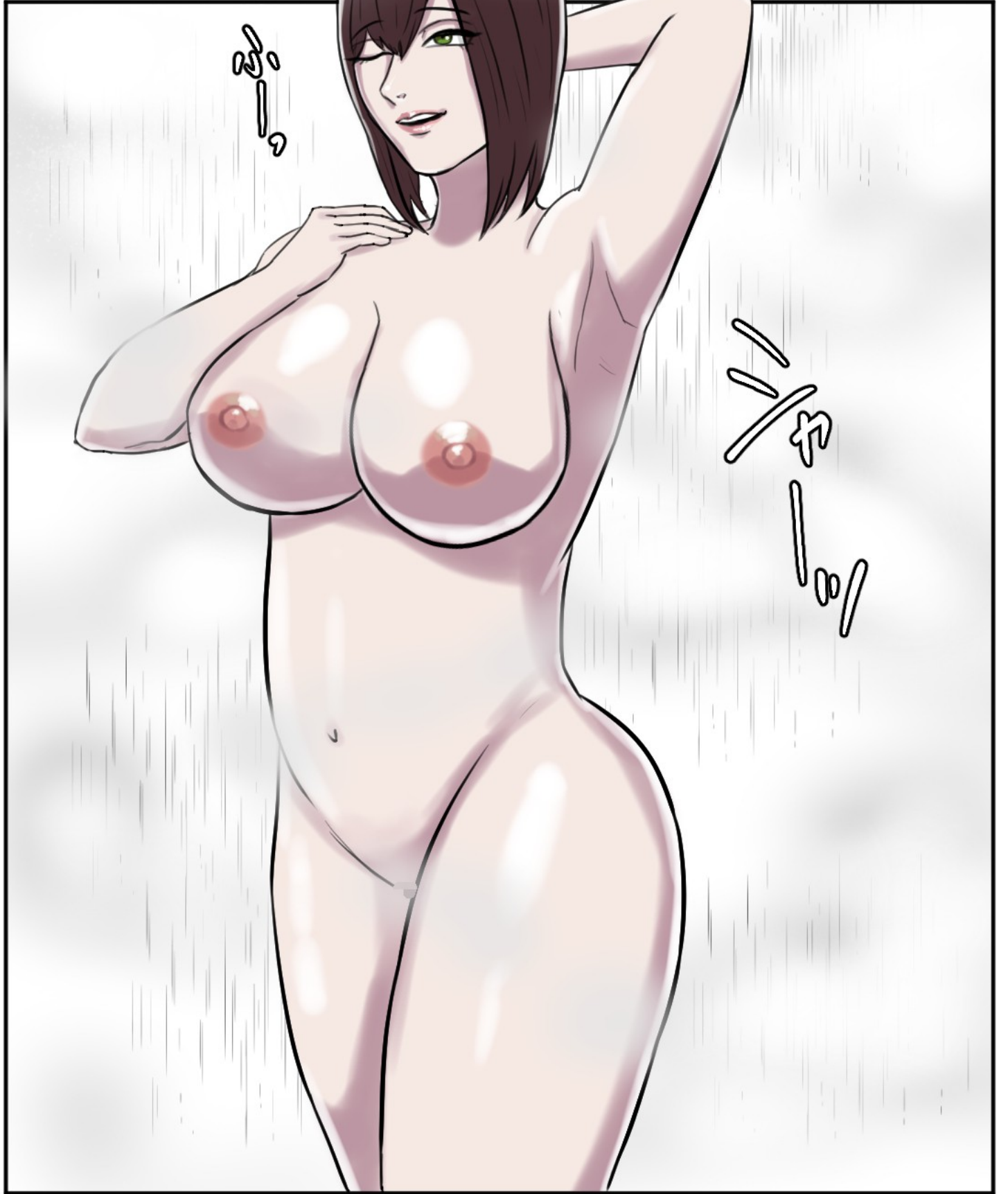
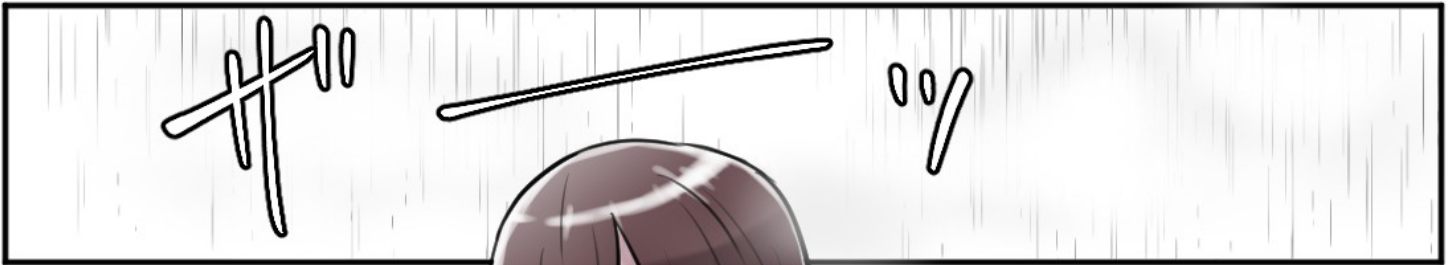
奪って・・・でも・・・？

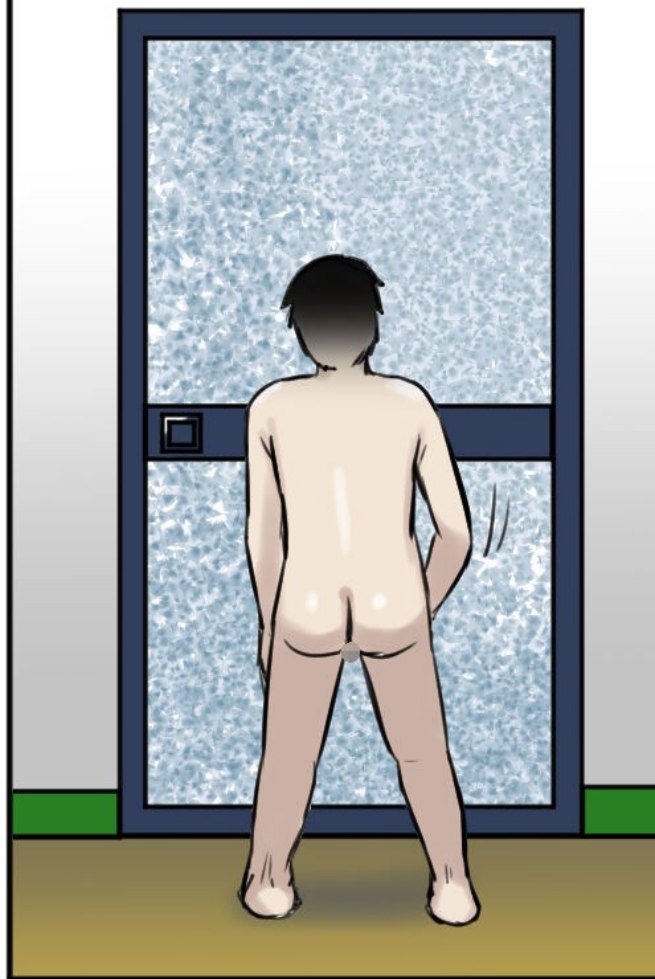
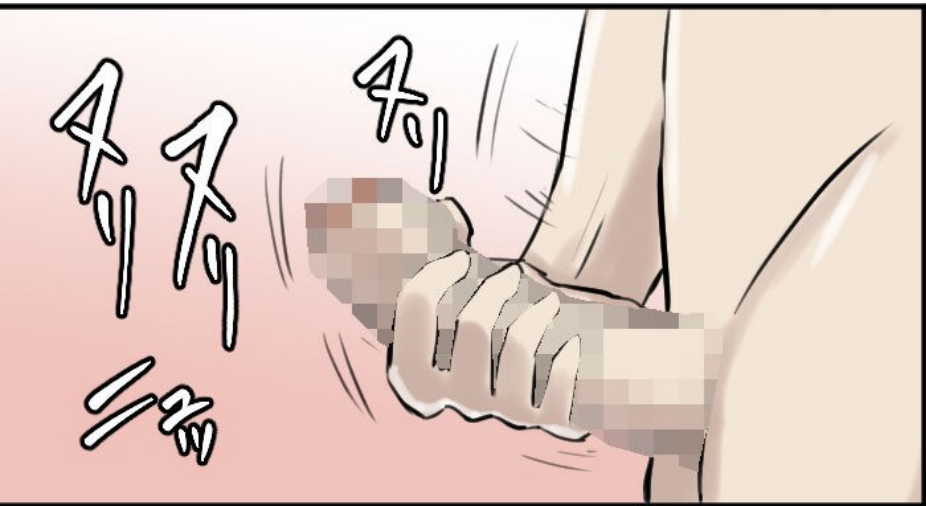
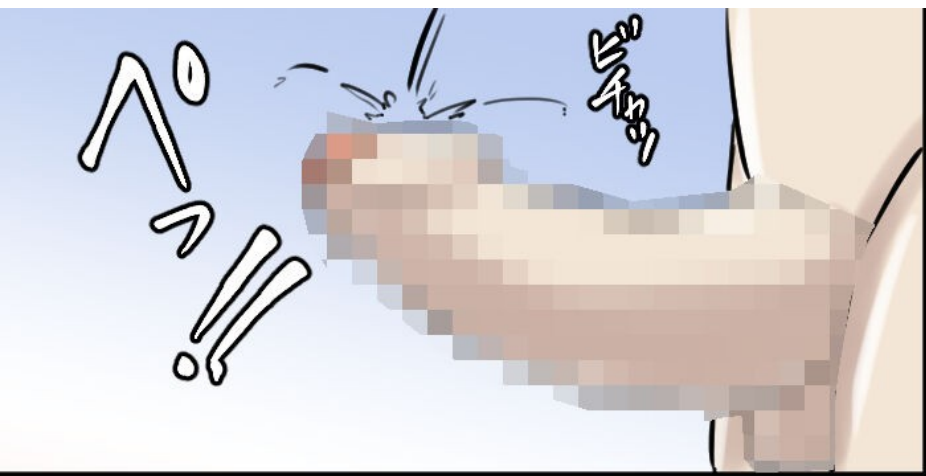
そうだ・・・

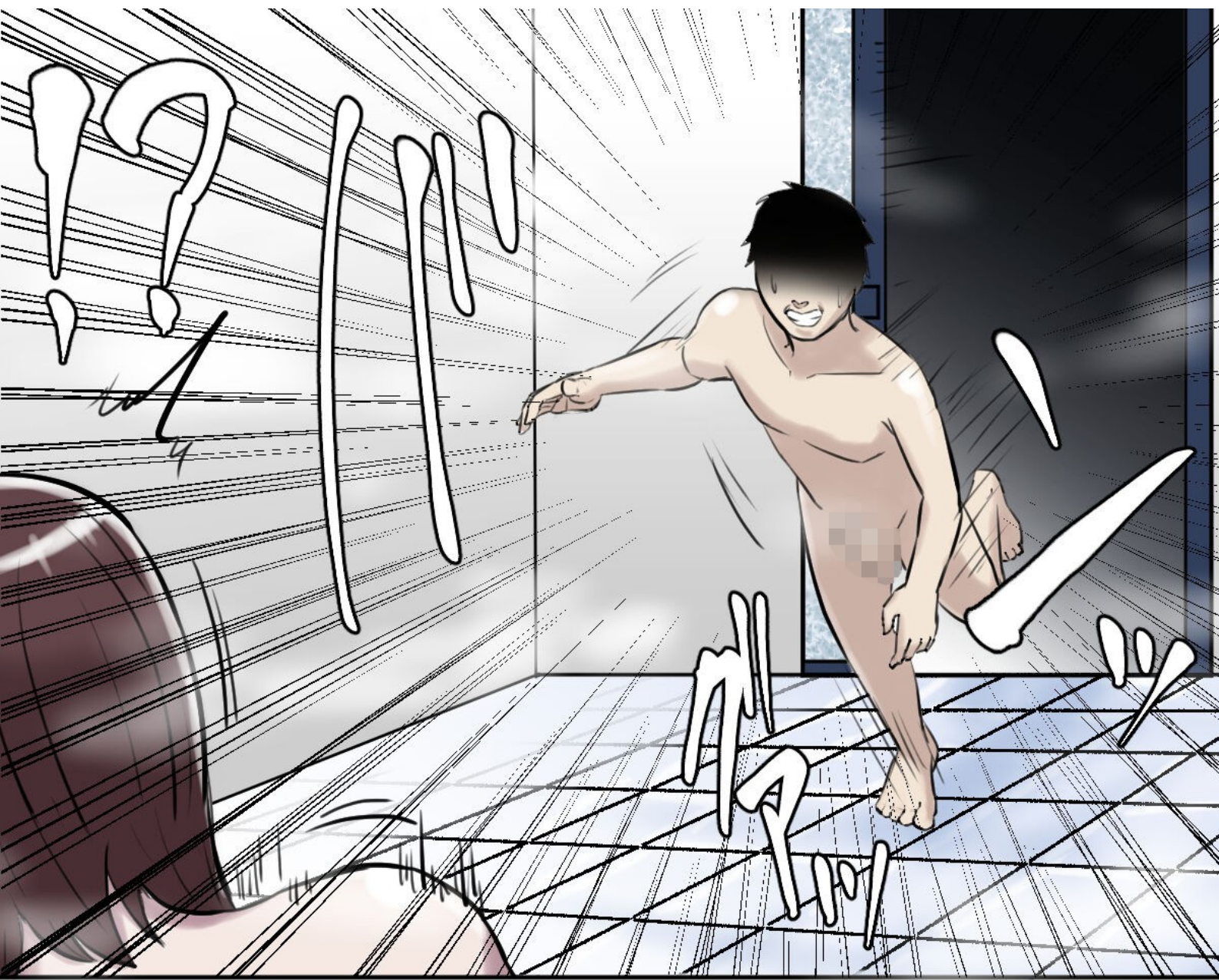


そうだよ！
いつそのこと奪えば
いいじゃないか！

奪ってやるよ・・・



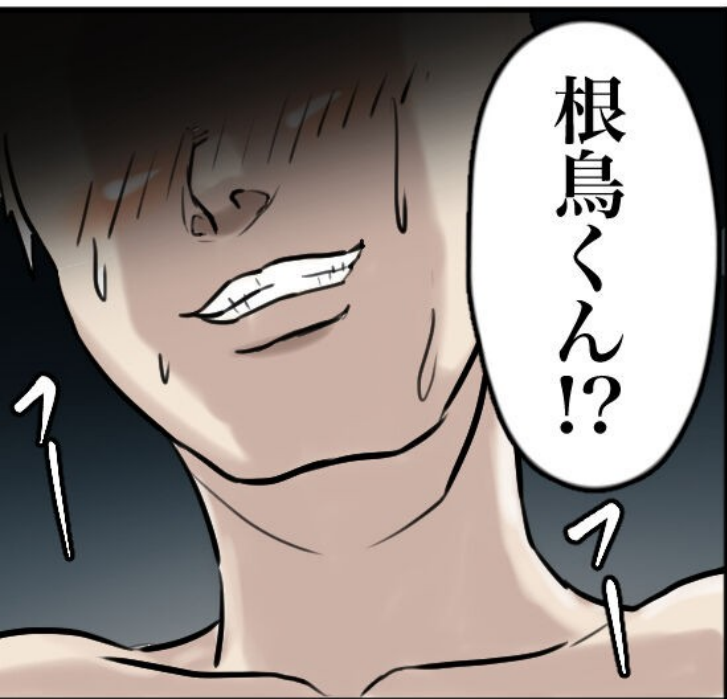
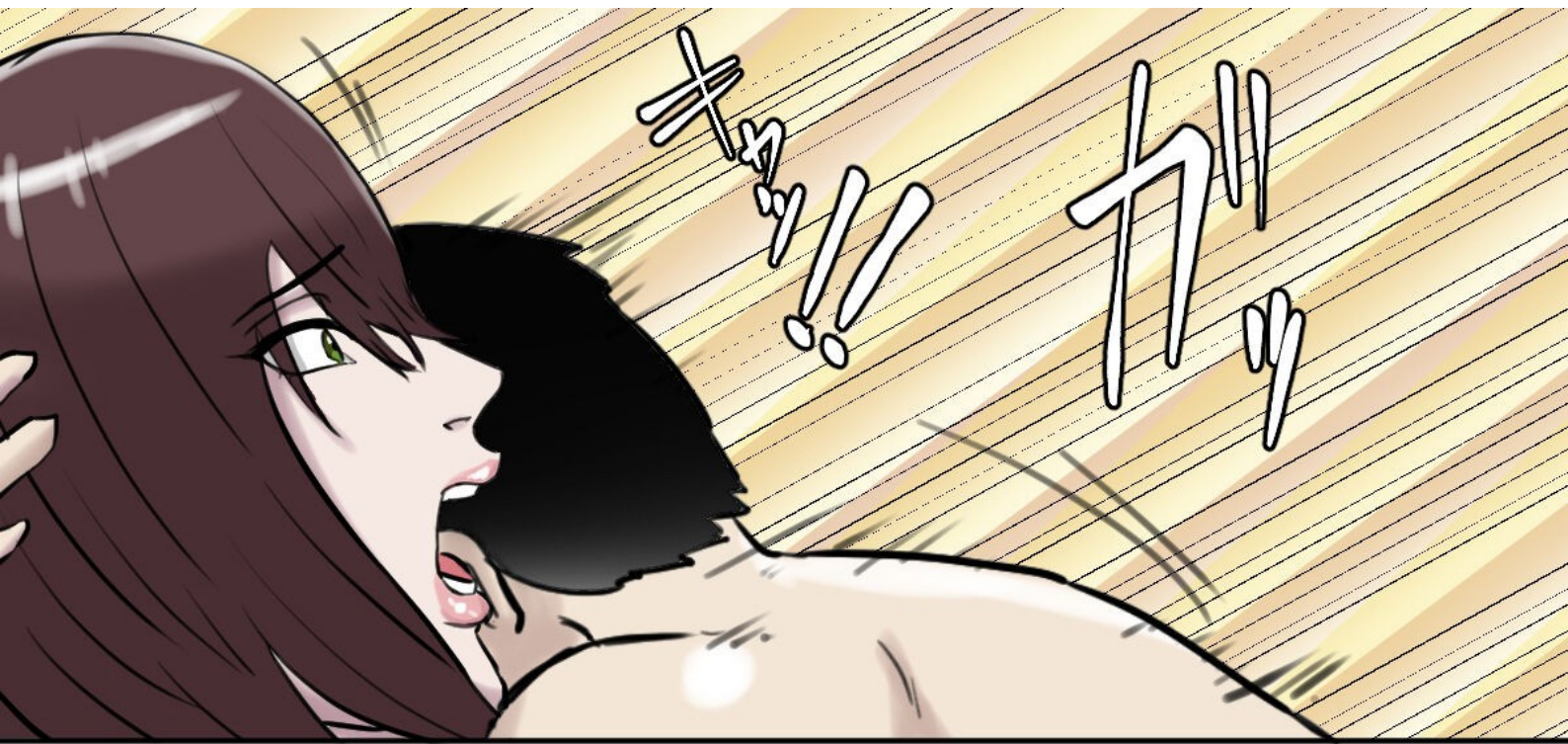




なっなに!?

えっ!?

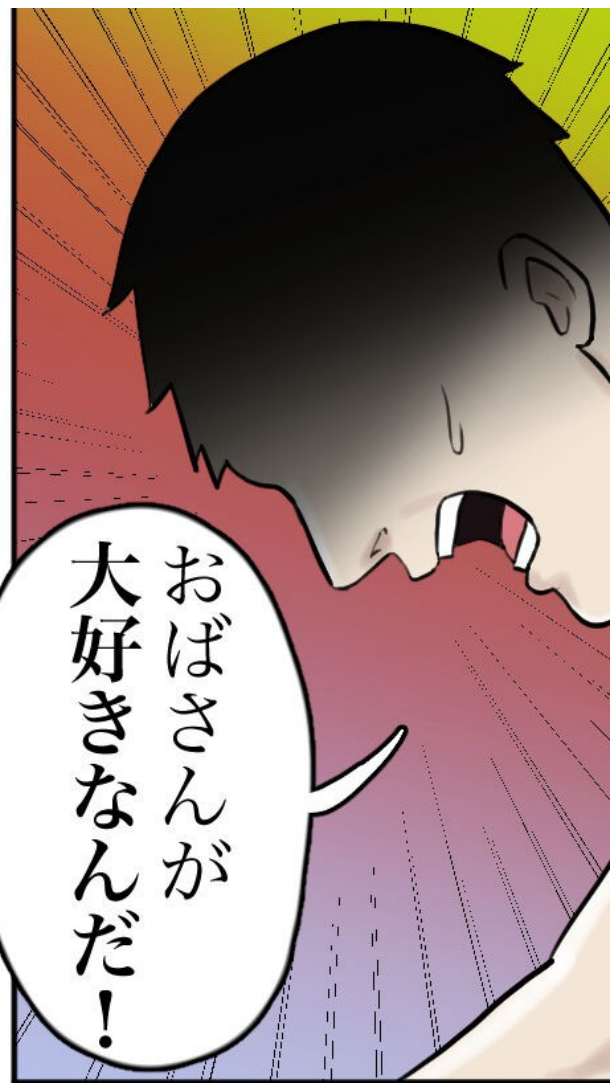
まあ……
意外と簡単だったね



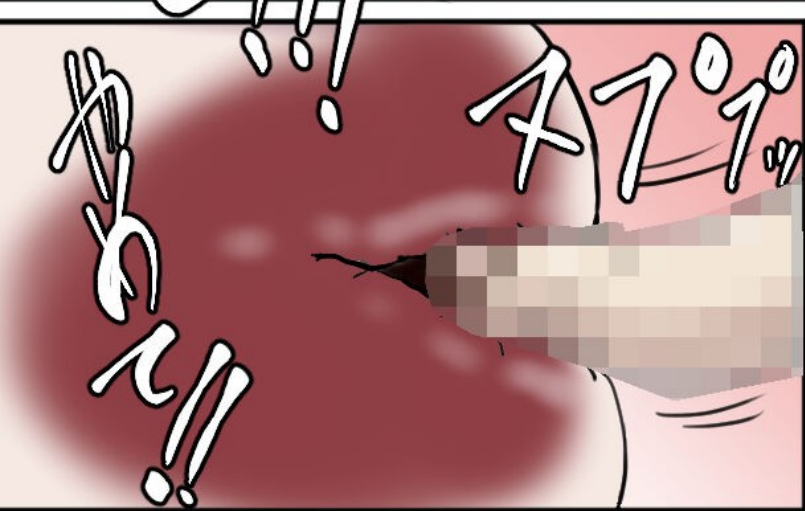


なのはどうして再婚なんてするの!
オレは許せない! そんなこと!
絶対に! 絶対絶対絶対にだ!

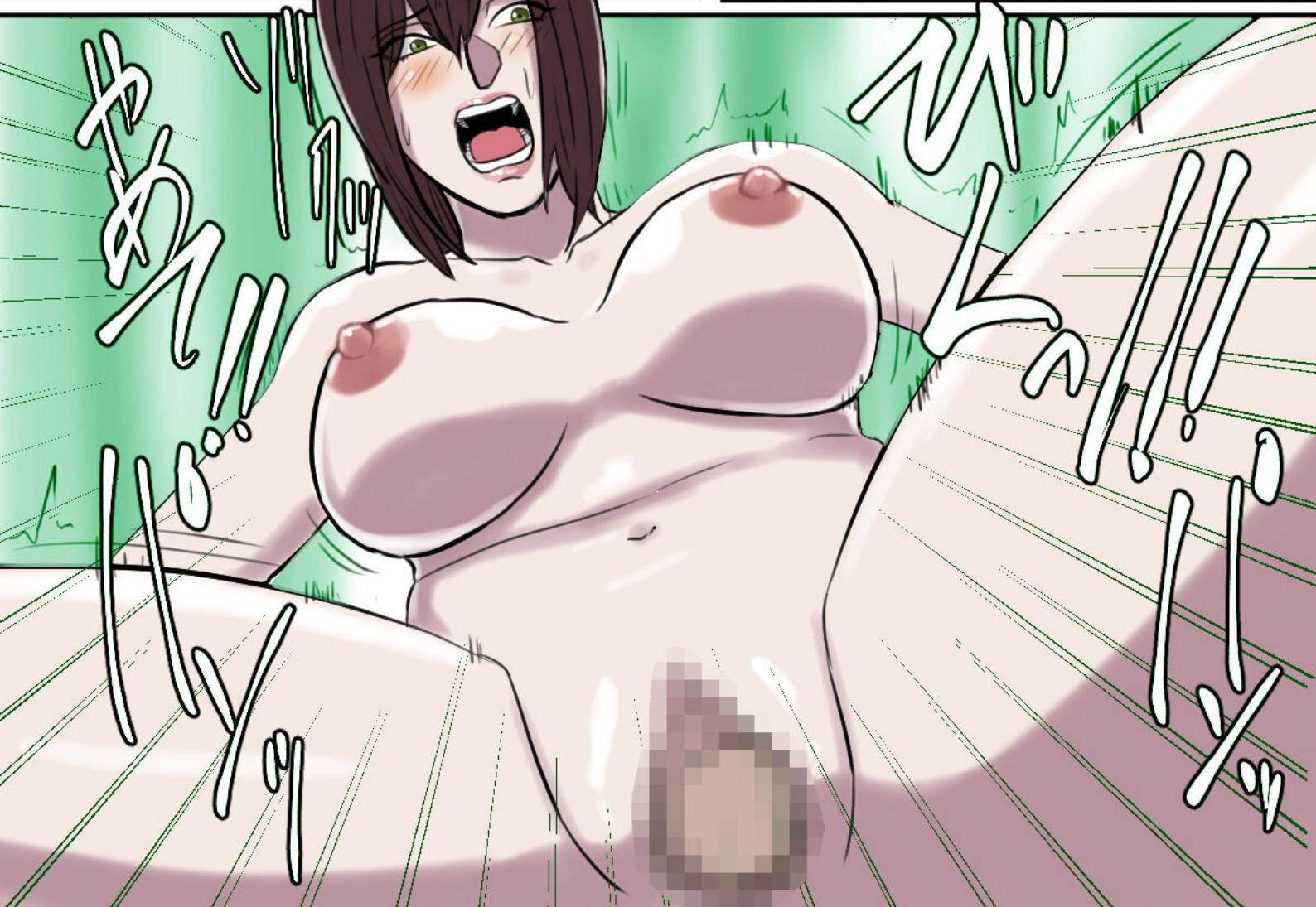
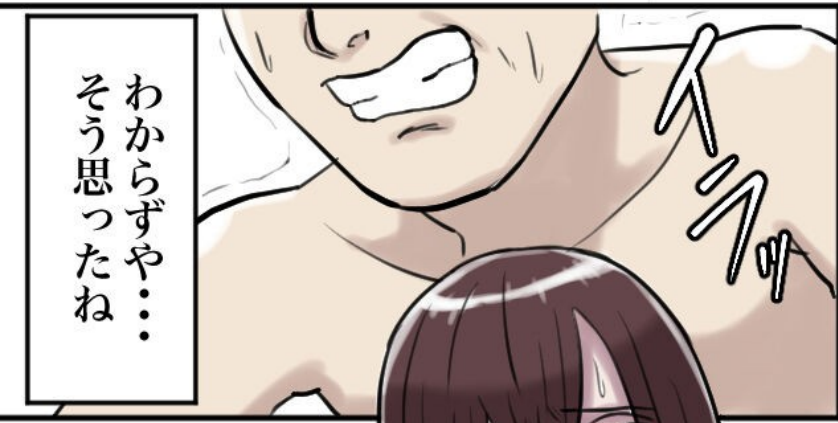
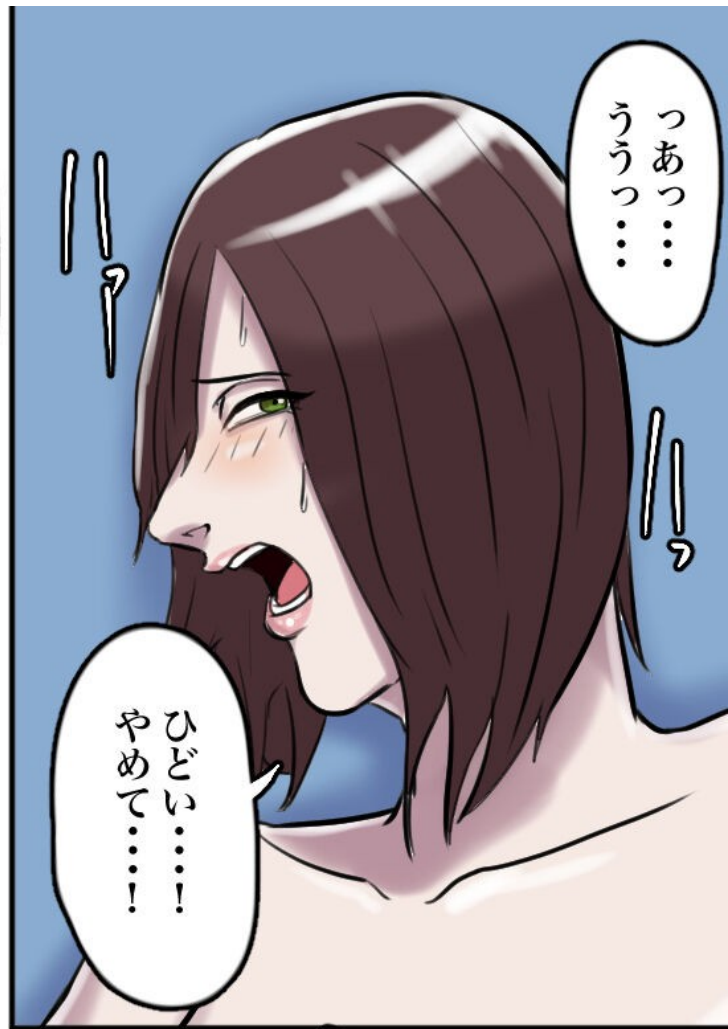
年下だからか!?
オレがまだ未熟だからか!?
ふざけるな! なめるな!
オレも大人だってこと教えて
やる!!



おばさんが
大好きなんだ!









おばさん!
おばさん!

やめて!
ねえ!

オレは怒りと興奮をおばさんに
ぶつけた...乱暴に...!

ふっ!ふっ!
好きだよ!好き!

もう出しちゃい
そうだよ!



おばさんの言葉を
無視してオレは...



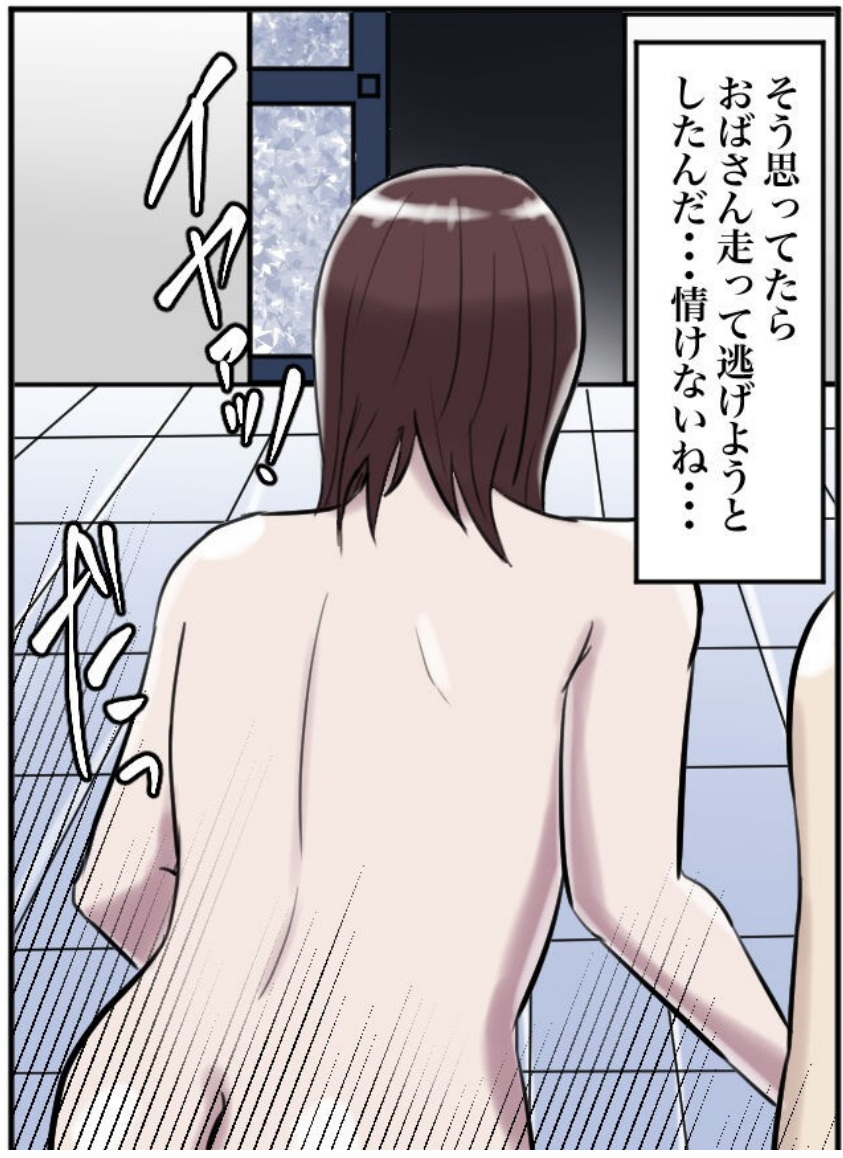
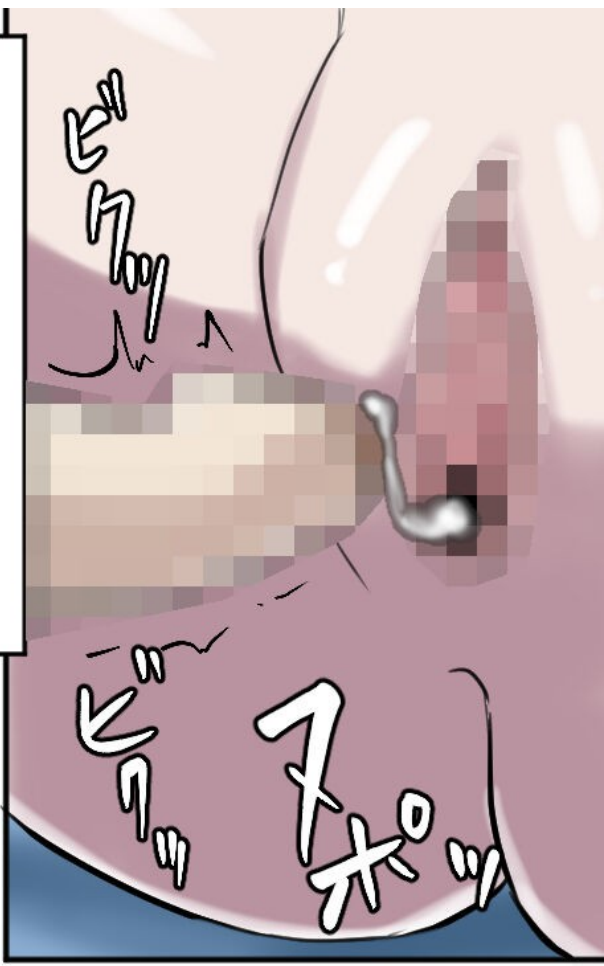
えっ...!
わ...わかったわ...!
今やめてくれたら...
許してあげるから...ね?





オレはおばさんに出出しキメて
やったよ...すごく動揺してたなあ

あの顔...
可愛かったなあ...

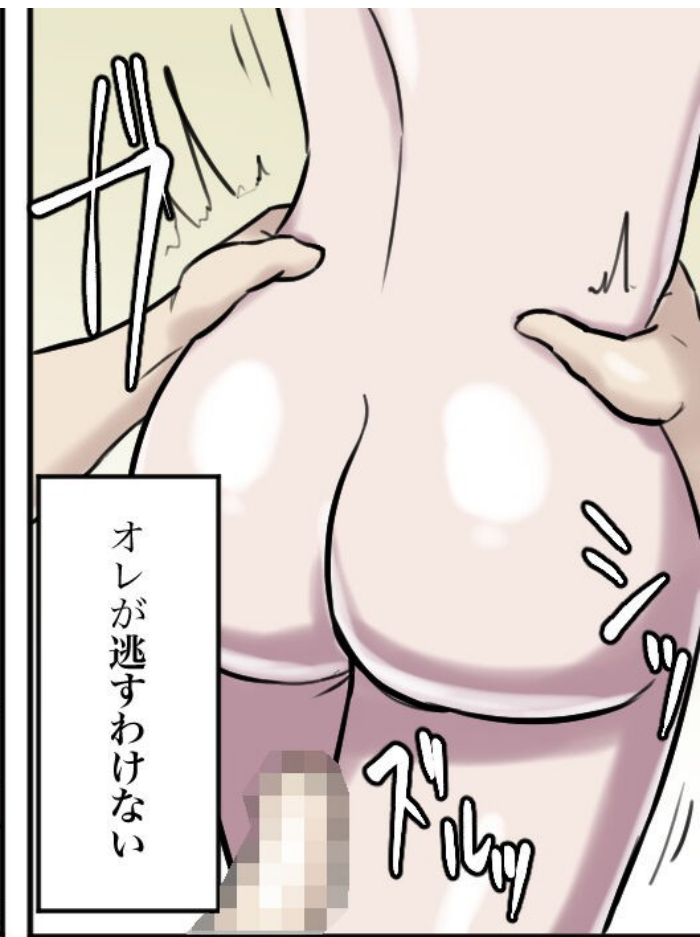


そう思ってたら
おばさん走って逃げよう
としたんだ...情けないね...

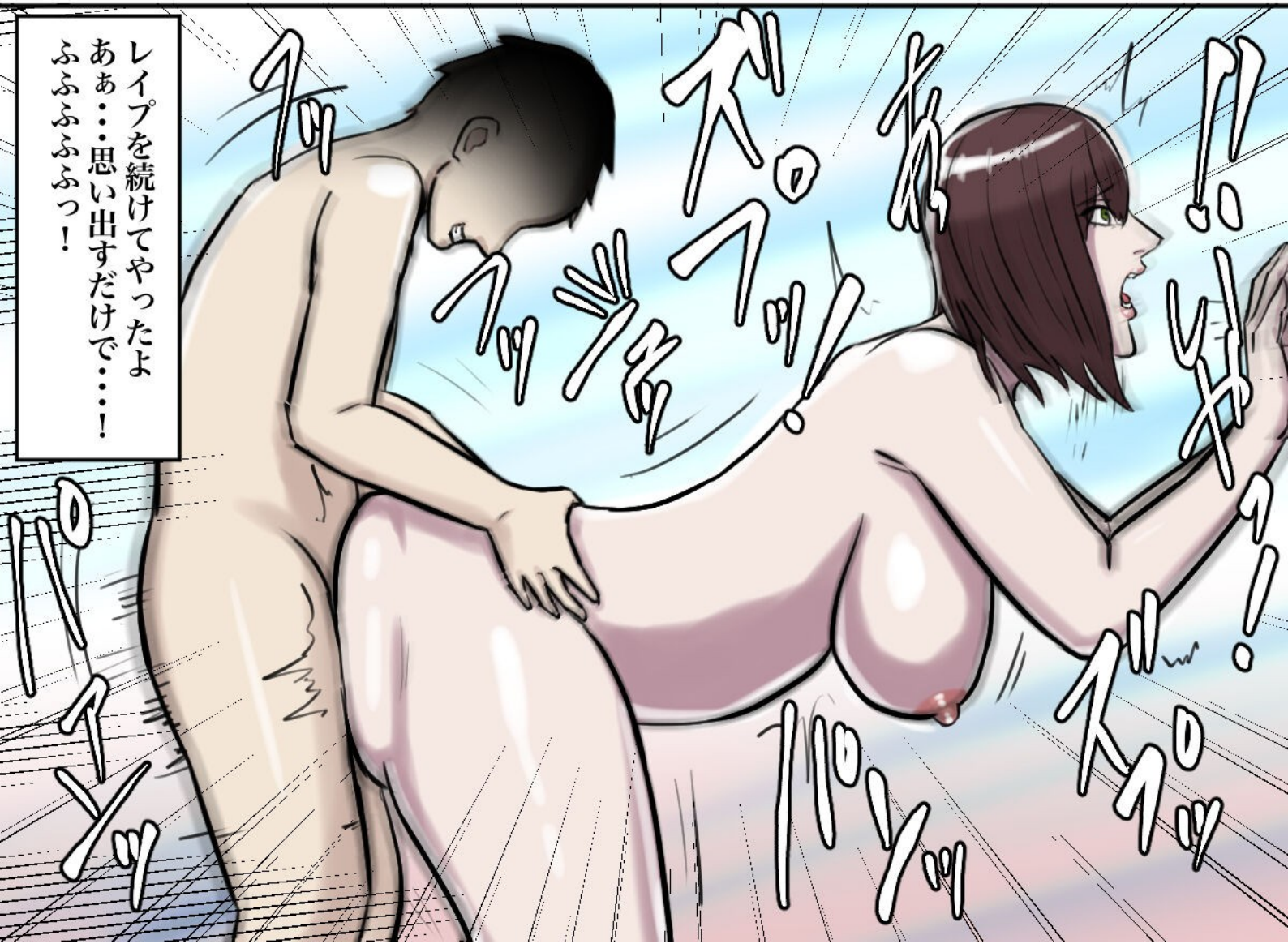




ちよつとー！
離してー！
やめなさいってばー！



オレが逃すわけない



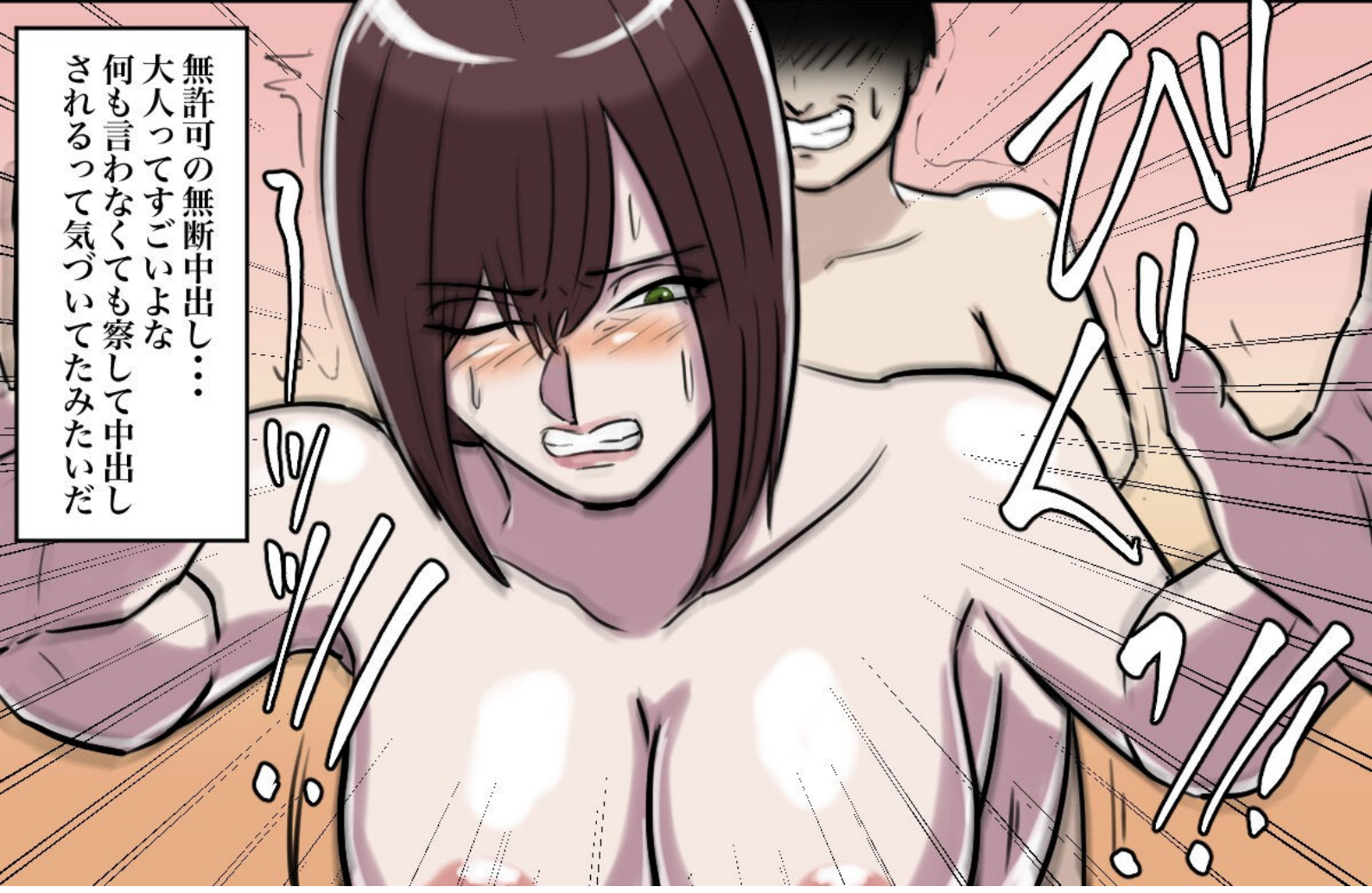
レイプを続けてやったよ
ああ…思い出すだけで…！！
ふふふふふっ！！



お願い! やめて!
ちよつと! いやああ!!



こつちを何度もみて
やめて! やめて! って...



無許可の無断中出し...
大人ってすごいよな
何も言わなくても察して中出し
されるって気づいてたみたいだ

ガクッ



すす...

その直後だな

やっと...
わかったんだね

おばさんは急にフツと
力が抜けて諦めがついた
ようだったよ...

おばさんは
素直だね



ゴッ

オッ

あああ!
おばさん!

出してやるからな!
早漏包茎ち○ぽで
思いっきり!!

グッ
グッ
グッ

グッ

チン

グッ
グッ
グッ

おばさんの
おま○こ!!

グッ
グッ

グッ







これがオレからの告白さ……
で……なんでオレが今更こんなことを
急に告白したか気になるだろう？



それはキミのおばさんが妊娠してるって
話をきいてね……自慢したくなったんだよ

オレの子供だよ！ってね……
子供を墮さなかったのは再婚予定の
相手との子供かもしれないって願いが
あったからだろうね！

おばさんって優しい人だよね
キミにも彼氏にも心配させないようにきつと
黙ってたんだらうね……
でもきつとオレの子だと思っうね……

ところで今キミは裏切り者のオレを絞めたい
気持ちなんだらうね
でも無駄さ……オレは海外に住んでるんだ
両親の仕事がうまくいってね……オレも更生した
ら快く連れて行ってくれたよ……海外はいいねえ！
おばさんとは子供を通してずっとオレと繋がって
いる……もう幸せすぎてキミに伝えちゃった！

じゃあ……まっ！
子育ての手伝いよろしく！
あとは任せるわ！
お兄ちゃん！ばいばい！

おわり